



FICHES DE PRÉSENTATION DES COLLECTIVITÉS FRANÇAISES ET JAPONAISES

- - -

フランスと日本の自治体の紹介資料

7^e Rencontres franco-japonaises de la coopération décentralisée

第7回日仏自治体交流会議



 <p>エクスプロヴァンス市役所</p>	
<p>地域圏</p>	<p>プロヴァンス・アルプ・コートダジュール (Provence Alpes Côte d'Azur)</p>
<p>県</p>	<p>ブッシュ・デュ・ローヌ (Bouches-du-Rhône)</p>
<p>面積</p>	<p>18 600 ヘクタール</p>
<p>人口</p>	<p>146 192 人</p>
<p>姉妹都市/交流都市</p>	<p>ヨーロッパ: バース(英国)、コインブラ(ポルトガル)、グラナダ(スペイン)、 ペーチ(ハンガリー)、ペルージャ(イタリア)、テュービンゲン(ドイツ) 地中海地域: アシュケロン(イスラエル)、バールベック(レバノン)、カルター ージュ(チュニジア)、ウジダ(モロッコ) アジア: 熊本市(日本) アフリカ: バマコ(マリ) アメリカ合衆国: コーラルゲーブルズ、バトンルージュ、フィラデルフィア</p>
<p>担当者と連絡先:</p>	<p>国際誘致/協力事業部 (Direction Attractivité et Coopération internationale) ジェローム・ブルジス氏 (Jérôme Bourgis) 電話: +33-4-42919288 メールアドレス: bourgis@mairie-aixenprovence.fr 住所: エクスプロヴァンス市役所 CS 30715、フランス、エクスプロヴァ ンス市、特別配達番号 1、郵便番号 13616 (Hôtel de Ville CS 30715, 13616 Aix-en-Provence Cedex 1, France)</p>

1. 当地方自治体の地理的位置と環境

- マルセイユ・プロヴァンス国際空港から 20 キロメートル
- 超高速列車 TGV のエクサンプロヴァンス駅から 11 キロメートル(パリから3時間、リオンから1時間 15 分)
- マルセイユ港から 20 キロメートル

エクサンプロヴァンス市は地中海気候の恩恵を受けている。海や起伏に富んだリュブロン地方そしてアルプス山脈に囲まれた 40 万人の人口を抱えるエクス地方の中心に当市は位置する。エクサンプロヴァンス市は、豊かな本物の自然に囲まれた恵まれた環境にあり、特に、セザンヌの不朽の名作で有名になったヴィクトール山が聳える素晴らしい自然空間のおかげで都市部にありながら田園生活を謳歌できる。

2. 当地方自治団体の歴史の要点

- 2 千年以上の歴史を持ち、155 の歴史建造物からなる都市遺産である。
 - 少なくとも 600 年を超える数百年前の大学がある。
 - フランス第二の規模を誇る控訴院のある主要司法都市である。
- エクサンプロヴァンス市はプロヴァンス地方の歴史的な中心地である。泉が多く湧き出る水の都であると同時に、ゾラやセザンヌのような著名な芸術家が多数ここでインスピレーションを得て生活した。

3. 特徴と都市活性化の切り札

- エクサンプロヴァンス市は 3 万 9700 人の学生を抱える(そのうちの 12%が留学生)。
- 多くの旅行者が訪れる:年間 150 万人の旅行者が訪れ、年に 140 万泊する。
- エクス地方には 5 万 1500 企業が、3000 ヘクタールの経済活動区で活動する。
- 文化集中地域(音楽とダンスの当地域圏芸術院、国立振り付けセンター、プロヴァンス大劇場、文化スペース「ラ・マニユファクチュール」)であり、国際歌劇芸術フェスティバルと復活祭フェスティバル(クラシック音楽)は国際的に非常に有名である。
- 年間 1000 以上の文化イベントが開催される。

4. 主な活動分野—専門分野または地方特産物

エクサンプロヴァンス市では、企業および研究分野の活動が非常に活発で(4 つの別特別産業地区があり、そのうちの 1 には 3887 企業が集中し、2 万 1672 人が就業し、もう 1 つの地区には環境のためのフランス第一の最先端技術研究センターがある)、雇用の創出を支援し、地域の工業競争力維持を可能にする。エクス地方の主な産業領域は、原子力、新エネルギー、航空、デジタル、農産物加工、輸送、物流、加えて、美容並びに健康である。

これ以外に当市の経済活動を推進する部門は、企業へのサービス事業、観光事業、商業、職人技術、農業である。農業部門では、ワイン 5 種とオリーブオイル 3 種が原産地呼称保護 AOP (PDO) 認定され、プロヴァンス製ワイン、ハチミツ、タイム並びに有名なエクスのカリソンなどの 6 種の製品が地理的表示保護認定 IGP (PGI) を受けている。

5. 日本に関わるイベントと活動、または当地方自治体の広告促進活動

能楽師狩野丹秀氏によって能舞台が寄贈されてから 20 年に渡り主に能楽の分野で文化交流が行われ、2013 年に、熊本市とエクサンプロヴァンス市は交流都市となった。観光事業・文化・芸術・経済・教育・研究・都市開発(2019 年には 31 人の日本人による調査使節を迎えた)、自治体行政の分野が交流の対象となる。2015 年にエクサンプロヴァンス市で開催された「日本年」後、両市は、2018 年と 2019 年に、両市の経済・文化・大学・種々の機構の担い手を再結集し、「両地域への誘致業務のための地方自治体間共同事業」という名のプロジェクトを実施した。同プロジェクトは、フランスのヨーロッパ・外務省により支援される。最近では、2021 年に、諸公園事務所と熊本の庭師組合の協力を得て、エクサンプロヴァンス市は能楽堂周辺に 6500 平方メートルの日本庭園を完成させた。2022 年 4 月には、熊本市の招待で、第 38 回全国都市緑化くまもとフェア花博で 1 週間エクサンプロヴァンス広告促進活動を行う。

6. どのような実戦経験を日本とフランスの自治体で共有すればよいか?(テーマ、プロジェクト、体験など)

環境の分野で、エクサンプロヴァンス市は、欧州連合から支援される「Airfresh」計画の先駆者である。樹木の大气汚染除去量を計測し、いくつもの区画を新鮮な空気で満たし都市部で炭素隔離をするために、2024 年までの試験地域として当市はイタリアのフローランスとともに選ばれた。空気質のこの調査を実施するために、408 の樹木が植林された。この調査の結果は当市の都市化政策改善に貢献し、欧州レベルでの政策モデルとして利用されるであろう。

自治体名	
州県	オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ
面積	69,711km ²
人口	800万人
姉妹（友好）都市名	愛知県
担当者連絡先： （住所 - 電話 - E メール）	Nathalie Col +33 4 26 73 50 46 <a href="mailto:nathalie.col@auvergn
erhonealpes.fr">nathalie.col@auvergn erhonealpes.fr



1. 自治体の地勢（約4行）

オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ州は、フランス南東部に位置しており、スイス（ジュネーブ）、北イタリア（トリノ、ミラノ）に近く、欧州主要都市を結ぶ接点として栄えています。アルプスやモンブランの山岳地帯から、ドローーム県やアルデッシュ県の穏やかなプロヴァンスの田園風景、オーヴェルニュの火山地帯まで、さまざまな風景や目的地があります。
2. 自治体の簡単な歴史（約4行）

2015年の地方制度改革に伴い、旧オーヴェルニュ地方とローヌ＝アルプ地方が統合され、オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ州が誕生しました。12の県と、地方自治体で特別な地位を有する1つのメトロポールで構成され、首府はリヨンです。
3. 特徴（約4行）

オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ州は、8つのユネスコ世界遺産、12の国立・地方自然公園、51の自然保護区を有し、豊かな歴史・自然遺産を誇ります。また、フランスを代表する主要温泉地域で、ウインタースポーツをはじめ山岳リゾート産業のリーダーでもあります。ミシュランガイドに掲載される約100軒の星付きレストランを擁しています。
4. 主要産業及び特産品（約4行）

オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ州は、フランスを代表する産業地域で、第2位の経済規模を誇り、国際的な視野を持つダイナミックな地域です。経済、観光、農業、研究・高等教育、デジタル技術と未来産業、*Zero Emission Valley*を通じたクリーン水素の利用促進など、様々な分野のプロジェクトの立ち上げ・支援を行っています。

5. 日本とのイベントや活動又は自治体のプロモーション（約4行）

当地域圏は、日本を国際政策における優先国の1つに位置付けています。2022年5月19日、オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ州議会議長と愛知県知事は、両自治体間の経済、商業、学術、科学、文化交流を強化するためのパートナーシップ協定を締結しました。

6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、実例など）

モビリティ・脱炭素に向けてオーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ州が推進する水素戦略。

オートン(AUTUN)	
地域圏 県	ブルゴーニュ・フランシュ・コンテ ソーヌ・エ・ロワール
面積	47,784 km ²
人口	2,816,289 人
姉妹(友好) 提携都市	日本、川越 インゲルハイム・アム・ライン (アルルマーニュ)-スティーブ ネージ(ルーマニア)-ウエルレ ニ(ブルキナファソ)-成都(中 国)
担当者連絡 先： (住所 - 電話 - E- mail)	ジルベール・ダルー (Gilbert DARROUX) +33 (0)6 29 87 72 73 gilbertdarroux@yahoo.fr
	
<p>1. 地域の状況や地理的な側面(4行程度) オートンは、2021年にモルヴァン自然公園に統合されました。この町は、フランスの大部分を占める巨大な花崗岩の山塊、マシフ・セントラルの北に位置し、1平方キロメートルあたり59人の人口密度を持つ。環境の質は高度に保護されています。。</p> <p>2. 地域の簡単な歴史(4行程度) オートンは、「芸術と歴史の町」ネットワークに登録されている町で、2千年以上前に始まった格調高い歴史を反映した、特別な遺産を有しています。この時、オートン=アウグストドゥヌムを首都とするガリア人のエドゥアン族がローマと軍事同盟の条約を結んだのである。 の遺跡が現存するオートンは、ロワール以北で最初のガロ・ロマン時代の遺跡である。</p> <p>3. 特集(約4行) キリスト教中世には、1120年以降に建てられた聖ラザロ大聖堂があり、クリュニア派の特徴を持ち、最後の審判、横たわるイブ、エジプトへの逃避、マギの眠りなどの有名なティンパンなど画家ギスレベルトゥスの彫刻が残されています。大聖堂の周辺には、中世の面影を残す細い路地や木組みの家屋が残っている。</p> <p>4. 主な活動分野、特産品・名産品(4行程度)</p>	

- 約 30 社が参加する工業生産または下請け活動。
- プラスチックの加工に特化した企業によるエコ産業の発展
- モルバンのすぐ近くにあり、急速に拡大する木材産業

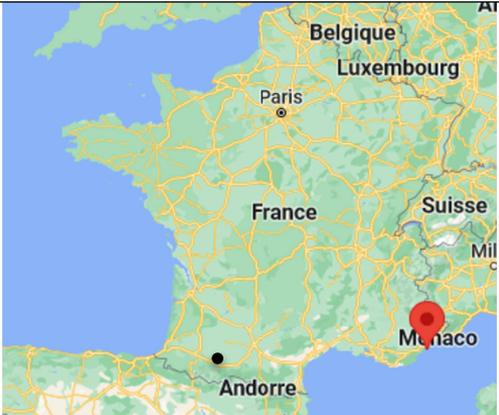
- 農業部門は、コミューンのコミュニティーの規模では、800 人の専門家、557 以上の農場、39,000 ヘクタールの牧草地、65,000 頭の牛に関係しています。

5. 日本や地域をアピールするイベントや活動(4 行程度)。

- ウルスリーントワー国際文化センターは、フレスコ画の指導をはじめとする文化・芸術交流を目的として、新世紀に設立されました。社長の高橋久雄は 1936 年日本生まれで、壁画の巨匠の資格を持っている。
- 前回の会議以降、川越のリセ・ボナパルトとリセ・ホシノとの交流が行われています。来年は、リセ・ボナパルトから引き継いだサン・ラザール・サクレマン校との交流が続く予定です

6. 日仏の自治体に伝えたい事例(テーマ、プロジェクト、経験など)を教えてください。

- ウルスリーントワー国際文化センターでの学生受け入れ継続(高橋久雄)。
- 学校間関係の継続

カンヌ市		
州	プロヴァンス・アルプ・コート・ダジュール州	
県	アルプマリタイム県	
面積	19,62 km ²	
人口	75,027 (2022 年)	
姉妹(友好)都市名	静岡市	
担当者連絡先: (住所 - 電話 - E-mail)	マガリ・タビユ 国際開発部長 1 place Cornut Gentil, magalie.thabuis@ville-cannes.fr Tel : 04 97 06 40 95/ 06 60 28 76 06	

1. 自治体の地勢

カンヌ市は地中海岸に面し、モナコとサントロペの間にあるコート・ダジュール地方の中心地です。マルセイユ市から 159km、パリ市から 970km の距離に位置しています。

海、山、田園風景を一日で満喫できる類まれな地理的条件であり、また、レラン諸島は異世界間感に満ちた特別な風景を提供します。最も近い南アルプスのスキーリゾートまでは車で 1 時間 15 分の立地です。

2. 自治体の簡単な歴史

1834 年、イギリスのブルーム卿がカンヌ市を訪れた際に、その小さな漁村に魅了され、イギリスだけでなくロシアやヨーロッパ中の貴族を引き寄せました。その後、カンヌ市は国際都市として発展し続け、1939 年にはカンヌ国際映画祭の開催地として選ばれました。今日、カンヌ市は世界最大級の芸術祭や国際会議が開催される都市として知られています。

3. 特徴

- ・世界有名都市：漁村から国際都市への発展。
- ・ヨーロッパにおける最も優れたコンベンション施設である「パレ・デ・フェスティバル・エ・デ・Congre」により、国際ビジネス展示会の開催実績はフランス第 2 位。
- ・パリに次ぐフランス第 2 位のビジネス出張先。
- ・「Everything is walking distance = 全てが徒歩圏内」という場所の統一性、ハイレベルな宿泊施設や専門的ノウハウによるイベントの永続性。
- ・アルプマリタイム県人口第 3 位の都市。
- ・カンヌ・マンドリュウ空港のビジネス利用はフランス第 2 位。
- ・脚本のライティング技法を学ぶための新しい大学である「ジョルジュ・メリエス・キャンパス」が 2021 年 10 月

にオープン。

4. 主要産業及び特産品

- ・文化および国際的イベントを中心とした発展。
- ・ビジネス及びレジャー観光(2017年:52大会開催)。
- ・新規産業の発展:カンヌ市プロジェクト「カンヌ・オン・エア」による創造経済の推進。

本事業は、大学キャンパスの開講、スタートアップ企業による企業集積、作品製作及び撮影後の「音声及び映像」編集作業並びに撮影用の特設地提供といった創造産業の発展を目的としています。

5. 日本とのイベントや活動又は自治体のプロモーション

- ・文化交流(2001年:年間行事である「シズオカ×カンヌウィーク」におけるカンヌ市民のジール・トラヴェルソ氏写真展、2015年:カンヌ音楽院との交流、日本の伝統芸術に関する展示「ジャポニスム2018」等)。
- ・2018年～カンヌ市立観光業高等学校・鈴木学園との交流。
- ・危機管理分野での協力。
- ・2022年10月「政策研究覚書」の更新。

6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？

カンヌ市及び静岡市の間で新たに更新される「政策研究覚書」は、文化交流、環境保護及び2都市の地域分権型協力を深化・多様化させるものです。

シャルトル市	
地方 県	サントル ヴァル ド ロワール ウール・エ・ロワール
面積	17 km ²
人口	40,000 人
姉妹(友 好)都市名	Ravenna (イタリア), Chichester (イギリス), Speyer (ドイツ), 奈良県桜井市 (日本), Bethlehem (パレスチナ), Evora (ポルトガ ル), Leon (スペイン), Lujan (アルゼンチン)
担当者 連絡先: (住所 - 電 話 - E- mail)	パトリック・ジェルデ 市役所 シャルトル市 プラス デ アル 28000 +33 (0)2 23 41 78 patrick.geroudet@ville-chartres.fr



1. 自治体の地勢 (約4行)

シャルトルは、パリの南西 88 km に位置し、歴史的にフランスの穀倉地帯である農業が盛んな台地の中心で、ウール川のほとりにあります。

2. 自治体の簡単な歴史 (約4行)

新石器時代から人が住んでいた事が確認されており、ローマ時代にはアウトリクンと呼ばれたシャルトルは、これまでに知られている最大の古代聖域を持つ重要な商業都市です。

中世において、シャルトルはインテレクトュアルかつ宗教的な中心地でした。シャルトルのノートルダム大聖堂は、1979 年にフランスで初めてユネスコの世界遺産に登録されました。

3. 特徴 (約4行)

ローマ時代から現代までの並外れた遺産。

シャルトル大聖堂、サン ピエール教会、サン テニャン教会、サン ジャン バティスト ドレシエーヴル教会、ステンド グラス国際センター、そしていくつもの現代ステンドグラスマエストロのアトリエをもった、ステンドグラスのキャピタルです。

現代モザイクの中心: サンテマン礼拝堂とピカシエツの家

4. 主要産業及び特産品 (約4行)

香水のキャピタルであるシャルトルは、美容と健康の競争力クラスターの中心地で、化粧品と香水製造業界で世界で最も人材数を誇るビジネスクラスター「コスメティック バレー」が活動しています。

また、農業、工業、第三次および商業活動のおかげで、ダイナミックな都市でもあります。さまざまなグルメ製品: シャルトルのパテ、ビール、小麦粉/パン、マカロン、メンチコフなど

5. 日本とのイベントや活動又は自治体のプロモーション(約4行)

1989 年以來、桜井市(奈良県)との友好都市:学校および文化的なつながりとシャルトル国際による日本語教室活動。

サントル ヴァル ド ロワール地方で最も主要な観光都市であるシャルトルには、年間 150 万人の訪問者が訪れます。光のキャピタルであるシャルトル市は、毎年 4 月中旬から 1 月初旬までの夕暮れ時に 100 万人の訪問者を引き付ける「シャルトル アン ルミエール」を開催しています (25 のモニュメントがビデオマッピングやライトアップされます)。

6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？(テーマ、計画、実例など)

シャルトル メトロポールには 50 人以上が在籍する考古学サービスがあり、パートナー都市と定期的に協力してこの分野の交流をしています。将来的には、日本の地方自治体の考古学サービスとの連携を発展させたいと考えています。

ディジョン・メトロポール		
地域圏 (州)	ブルゴーニュ フランシュ・コンテ	
県	コート・ドール	
面積	240 km ²	
人口	259 087 人 (2021 年)	
姉妹都市/ 友好都市	<p>ヨーク (英国)</p> <p>ダラス (アメリカ合衆国)</p> <p>クルジュ・ナポカ (ルーマニア)</p> <p>マインツ(ドイツ)</p> <p>ペーチ(ハンガリー)</p> <p>レッジョ・エミリア (イタリア)</p> <p>スコピエ(北マケドニア)</p> <p>プラハ6 (チェコ共和国)</p> <p>シャウエン (モロッコ)</p> <p>ギマラインス(ポルトガル)</p> <p>ダカール(セネガル)</p> <p>ヴォルゴグラード (ロシア)</p>	
担当者連絡先: (住所 - 電話 - E-メール)	<p>Bertrand FORT (ベルトラン・フォール)</p> <p>1 rue Sainte-Anne 21000 Dijon (ディジョン市 セント・アンヌ通り 1 番地 郵便番号 21000)</p> <p>bfort@metropole-dijon.fr</p> <p>+33 3 80 48 80 62</p>	
<p>1. 自治体の地理的状況</p> <p>ディジョン・メトロポールは、ブルゴーニュ・フランシュ・コンテ地域圏の首府でコートドール県の県庁所在地でもあるディジョンを含む 23 のコミューンを統合し、大都市リヨンとパリの間位置し、自動車や自動車でフランス東部にも簡単にアクセスできます。</p>		

2. 自治体の簡単な歴史

2017年にメトロポールになる以前は、1976年と2000年の間は連合区、次いで都市圏共同体（グラン・ディジョン）となり、2014年と2017年の間は都市共同体でした。

3. 特徴

ディジョンは2024年9月から国際ブドウ・ワイン機構の本部を迎えます。ディジョンとその周辺はグラン・クリュ街道の出発点であり、ブルゴーニュのクリマは、2011年からディジョン旧市街地（歩行者天国）と同じく、ユネスコの世界遺産に登録されています。

4. 主要産業及び特産品

農産物のクラスターとしてはVitagora（ヴィタゴラ）、イノベーションのインキュベーター・アクセレーターのアグロノヴ（アグロノヴ）が、健康産業関連の分野では沢山の企業や研究開発センターがあります。ディジョンはデジタル関連においてもインテリジェントでコネクティッドな街です（オン・ディジョン）。

美食、ワイン・ブドウ栽培、文化、文化遺産、ビジネスに関する観光も充実しています。

5. 日本とのイベントや活動又は自治体のプロモーション

ぶどう祭り

国際美食フェア

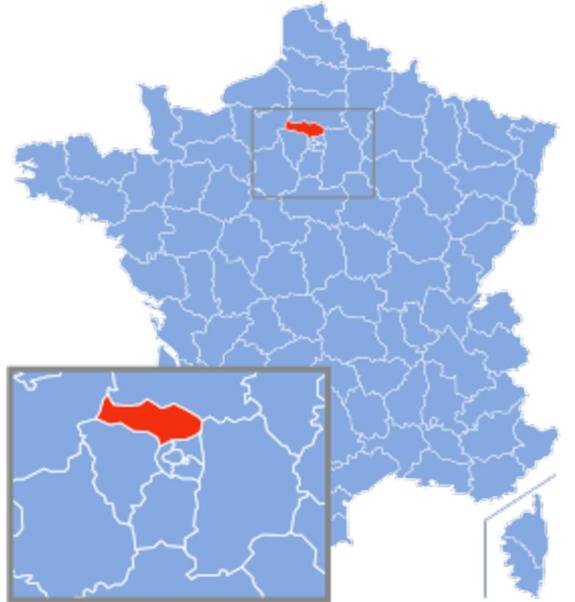
国際美食ワイン館の計画

6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、事例など）

-美食とワインのための国際センターの設立

-ヨーロッパで最も広範囲なスマートシティ、オン・ディジョン

-2030年カーボンニュートラルへのロードマップ

自治体交流基礎データシート		
自治体名	フランス・ヴァルドワーズ県	
面積	1 245 km ²	
人口	1,195,000 人	
姉妹(友好)都市名	大阪府(友好都市提携) 三重県(航空機産業分野)	
日仏交流窓口担当課	CEEVO-l'Agence de Développement et d'Attractivité du Val d'Oise	
電話番号/FAX 番号	Tél: 0134253242 Fax : 0134253220	
E-mail アドレス	jf.benon@ceevo95.fr	

1. 地勢

Situé au nord de la région parisienne, le Val d'Oise est l'un des sept départements qui, joints à Paris, constituent la Région Île-de-France. Le Val d'Oise est fortement urbanisé dans sa partie Est et Sud, au contact de Paris. Le département est situé à quelques kilomètres seulement de la capitale, mais il conserve de très vastes espaces ruraux. Les projets du Grand Paris, lui donne aussi une place dans les liaisons avec la Normandie et l'ouest de la France. L'aéroport Roissy-Charles-de-Gaulle, le 2^{ème} aéroport d'Europe, lui ouvre les horizons du monde entier.

ヴァルドワーズ県は、パリ近郊北に位置し、パリを中心とする隣接7つの県で構成するイル＝ド＝フランス州に属する。ヴァルドワーズ県は、パリ隣接の東部と南部が特に都会化が進み、首都圏から僅か数キロメートルという地の利がある一方、非常に広大な田園スペースも確保しています。パリ開発プロジェクトのグラン・パリ計画では、ノルマンディーやフランス西部地域と同県を繋ぐ交通網が整備されます。また、県内にヨーロッパ第2の規模を誇る Roissy (シャルル・ド・ゴール) 空港を擁し、全世界へと繋がります。

2. 都市の歴史、成り立ち

Créé à partir de l'ancienne Seine-et-Oise en 1964, le Val d'Oise est un département jeune, par son histoire comme sa population. Le Val d'Oise est depuis longtemps une porte d'entrée pour les échanges avec l'Europe du Nord. Avec des entreprises actives à l'international et des filières d'excellence à vocation mondiale, le Val d'Oise s'inscrit résolument au cœur des échanges, des biens et des hommes.

1964年に旧セーヌ・エ・オワーズ県から分県された成り立ちから、人口構成も若い新興県ですが、長年ヨーロッパ北部への交流玄関でもあります。

一方、多国籍企業の投資活動や優良企業の子会社進出など積極的な企業展開する上で、ヴァルドワーズ県は商活動やビジネスマンの重要な交流拠点になっている。

3. 特徴

Un cœur économique à côté de Paris : Le Val d'Oise offre de nombreuses opportunités pour l'implantation des entreprises internationales sur des territoires aux caractéristiques diversifiées. Aujourd'hui, plus de 60 sociétés japonaises sont implantées en Val d'Oise.

Des établissements d'enseignements supérieur de renom : avec 27 000 étudiants, 1 université, 1 grande école de commerce et 6 écoles d'ingénieurs, le Val d'Oise offre le second campus d'Île-de-France après Paris.

Des sites culturels majeurs : Auvers-sur-Oise, Ecoen, Maubuisson, la Roche-Guyon, Royaumont, Enghien-les-Bains...

パリに隣接する経済拠点：ヴァルドワーズ県は、国際企業の進出投資に対し多様な特性をもつ地域に様々な機会を提供しています。日本企業の進出例も現在60社以上あります。

有名な高等教育機関：ヴァルドワーズ県は、3万人の学生数を誇り、一つの大学、一つの著名ビジネススクール、六つのエンジ

ニアリングの高等教育機関を有し、パリに次ぐイル＝ド＝フランス州における第二のキャンパスを提供しています。

主な文化遺産：ゴッホ縁のオーヴェル＝シュル＝オワーズ、ルネサンス様式のエクアン城、モビユイソン修道院、ラロッシュギュイヨン城、ロワモン修道院、アンギャンレバン創造都市

4. 主要産業：地域の特徴及び特産品

ヴァルドワーズ県は様々な分野の企業を受け入れています。航空機、空港関連サービス、コスメ、組み込みシステムセキュリティ、安全リスク管理、環境対応製品、交通や物流、自動車産業の下請けなどに及びます。設備材製造業、自動車・航空機製造及びその周辺産業である電気、電子工業、精密工業、金属加工業等。医薬品、航空機、ロボット等の先端技術産業についても発展中。農業では、優れた気候条件、肥沃な土壌等により「パリの菜園」と呼ばれ、野菜、果実、花、馬鈴薯等を産出。（日本との交流関係においては医療・化粧品産業、航空機産業）

5. 日本との地域間活動や交流促進の事例

- Echanges de groupes de fonctionnaires et d'élus des deux territoires, portant sur les domaines liés à l'urbanisme, les transports, les affaires sociales et sanitaires, le soutien aux personnes âgées et handicapées, les politiques en faveur de la jeunesse.
- Participation chaque année, depuis 1993, à des conventions d'affaires et salons professionnels à Osaka. Des partenariats ont été noués entre des entreprises et les clusters des deux territoires, et des expositions de produits des deux régions ont pu être organisées en Val d'Oise et à Osaka pour favoriser la promotion de leurs exportations.
- Echanges entre les établissements d'enseignement supérieur des deux territoires, qui ont permis notamment la signature de conventions pour les échanges d'enseignants et d'étudiants.
- ・都市計画、交通、社会問題と健康、高齢者や障害者支援、青少年対策に関連する分野に及ぶ両国地域の公務員や議員グループとの交流
- ・大阪のビジネスコンベンション・展示会イベント 1993 年以来の毎年参加。ヴァルドワーズ県と大阪府の友好都市提携により企業や産業クラスターの結びつきが促進され、両府県における輸出振興策として商品紹介展示の催しも出来るようになった
- ・友好都市の高等教育機関同士の交流により教師や学生が交流する学術協定が調印されるに至った

6. 今後、日仏交流において実施したいことや関心のある分野など

ヴァルドワーズ県と大阪府は 31 年間の友好都市提携により経済・産業技術・高等教育機関の分野で交流が深まり、その結果、具体的には、テクノロジーや革新的プロジェクトの出現など、ロボット工学、バイオテクノロジーの分野で企業間の交流・協力が進み、両領域の高等教育機関の間で(学生交流)も確立されました。

成功要因：良好な相互理解

- ・2つの自治体間の関係発展に伴うお互いの経済的利害、文化的関心
- ・両地域の発展と繁栄に貢献

経済効果：ヴァルドワーズ県における日本企業60社以上の進出事例

我々の行動は地域に外国企業の誘致を重大任務とし、ヴァルドワーズ県における経済発展や雇用創出を主に目指すが地域産業の国際化も図っている。ヴァルドワーズ県は、フランスにおける日本企業の進出投資の主要部門の一つの役割を担い、1999年大阪に開設したヴァルドワーズ県議会開発公社の経済振興委員会(略称 CEEVO)の大阪事務所の支援を得て今日では60社近い日本企業を誘致し2000人の雇用を生むに至っている。

高等教育の分野では、地元大学やパリセーヌ COMUE など地域の教育機関において、お互いの大学で取得学位(ダブルディグリー)を認め合い、日本語コース、集中講義、学生の交換留学や教職員交流をしています。今日ではヴァルドワーズ県で3750人の外国人学生が学び、そのうち700人がアジアからの学生です。

最後に、ヴァルドワーズ県の観光ですが、県議会の観光開発公社が、ツアーオペレーターや日本人観光客に対し観光PR促進の為、観光関係者と連携し取組んでいます。ヴァルドワーズ県は、多様で様々なニーズに応じ、また特定のテーマ(印象派画家の地、結婚式や新婚旅行、ビジネスマンの視察、レジャーやエステ美容)に沿った魅力的なコースを提案致します。

Val d'Oise / Osaka : 35 ans de coopération dans les domaines économiques, technologiques et universitaires

Depuis 35 ans, date de la signature d'une convention d'échanges et de partenariats entre le Conseil départemental du Val d'Oise et la Préfecture d'Osaka, des coopérations concrètes se sont instaurées entre les établissements d'enseignement supérieur des deux régions (échanges d'étudiants), entre les entreprises dans les secteurs de la robotique, des biotechnologies, notamment pour faire émerger des projets technologiques et innovants.

Facteurs de réussite : bonne connaissance mutuelle ; intérêt économique et culturel au développement des

relations entre deux collectivités ; contribue au développement et à la prospérité des deux territoires. Impact économique : plus de 60 sociétés japonaises implantées en Val d'Oise.

Notre action vise prioritairement le développement économique et de l'emploi en Val d'Oise, avec un travail important pour attirer des entreprises étrangères sur notre sol, mais aussi accompagner le développement de nos entreprises à l'international. Le Val d'Oise est ainsi devenu l'un des tous premiers départements d'implantation d'entreprises japonaises en France, et ce avec l'aide du bureau de représentation ouvert en 1999 à Osaka par le CEEVO- l'Agence de Développement et d'Attractivité du Val d'Oise. Aujourd'hui, ce sont près de 70 entreprises japonaises qui sont implantées dans le Val d'Oise, ce qui correspond à 2 000 emplois.

Dans le domaine de l'enseignement supérieur, les établissements valdoisiens de CY Paris-Cergy Université ont mis en place des doubles diplômes, des cours de langue de japonais, des stages intensifs, des échanges d'étudiants et de professeurs etc. Aujourd'hui ce sont plus de 3750 étudiants étrangers qui viennent étudier en Val d'Oise, dont 700 provenant d'un pays d'Asie.

Enfin, Val d'Oise Tourisme, l'agence de développement touristique du Conseil départemental, travaille en lien avec les acteurs touristiques valdoisiens afin de promouvoir les sites touristiques auprès des tour-operators et touristes japonais. Le Val d'Oise propose des parcours divers et variés et sur des thématiques précises (Impressionnisme, mariages et lunes de miel, tourisme d'affaires, loisirs et bien-être).

グルノーブル・アルプ・メトロポール(GAM)		フランスの地図上に自治体の場所を示す
州	オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ地域圏	
県	イゼール県	
面積	545 km ²	
人口	445000 人	
姉妹(友好)都市名	つくば市(茨城県) 豊田市(愛知県) 郡山市(福島県)	
担当者連絡先: (住所 - 電話 - E-mail)	gabriel.voisin-fradin @grenoblealpesmetropole.fr +33.643203741	

7. 自治体の地勢(約4行)

グルノーブル アルプ メトロポールは、ドランク川とイゼール川の合流点に、都会と田舎の両方の 49 の町を集めています。4つの山脈(Taillefer、Vercors、Chartreuse、Belledone)に囲まれた都市化された盆地であるこの大都市は、自然との近さだけでなく密度によっても強く特徴づけられます。

グルノーブル・アルプ・メトロポール(以下、「GAM」という。)は、ドランク川とイゼール川の合流地点に位置し、都会と田舎の顔を併せ持つ49のコミューンからなる。周囲を4つの山脈(Taillefer、Vercors、Chartreuse、Belledone)に囲まれており、自然と密接な関係にあることが特徴の一つである。

8. 自治体の簡単な歴史(約4行)

2015年以來の大都市である GAM は、以前は都市コミュニティでした。その地理的範囲はここ数年で拡大し、グルノーブルの南(以前は自治体のコミュニティ)とシャルトリューズ(同上)のバルコニーが含まれるようになりました。自治体のスキルとサービスの統合は、2015年以降強化されています。

かつて都市圏共同体であった GAM は、2015年にメトロポールとなった。ここ数年で、2つのコミューン共同体を統合したことにより、その地理的範囲を拡大した。2015年以降、権限の強化とサービスの統合を進めている。

9. 特徴(約4行)

大都市は、技術革新(大学の研究センター、企業)の面での資産と、移行に有利な位置付けで特に有名です。グルノーブル市がある 2022年ヨーロッパの緑の首都です。

GAM はイノベーション分野(大学及び企業の研究機関との連携)とエネルギー転換分野に強みを持つ。2022年、「欧州グリーン首都賞」を受賞した。

10. 主要産業及び特産品(約4行)

半導体、マイクロエレクトロニクス、エネルギー、デジタル、健康技術が主な産業部門です。山(アウトドア)、文化的および連想的な生活、市民参加が大きな特徴です。

主要産業は半導体、マイクロエレクトロニクス、エネルギー、デジタルヘルス分野であ

る。アウトドア、文化的な生活、市民参画等の分野にも力を入れている。

11. 日本とのイベントや活動又は自治体のプロモーション(約4行)

つくばとの非常に強力な大学パートナーシップと並行して、イノベーションと起業家精神、および移行(エネルギー、環境)の分野における3つのパートナーコミュニティとの技術交流(エネルギー、環境)。グルノーブルでの日本文化週間は、2023年11月8日から12日まで予定されています。

日本の3自治体とイノベーション、起業、エネルギー転換の分野で技術交流を実施している。2国間交流、欧州連合(EU)プロジェクト「国際都市地域間協力(IURC)」における交流に加え、筑波大学とのCampus in Campus(CiC)協定による学術交流を実施している。2023年11月8日から12日まで、グルノーブルで日本文化週間の開催を予定している。

12. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか?(テーマ、計画、事例など)

リヨン市	
州 県	オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ州 ローヌ県
面積	47,87 km ²
人口	522 969 人 (2019)
姉妹(友好)都市名	横浜
担当者連絡先: (住所 - 電話 - E-mail)	マゼ・ソフィー 20 Rue du Lac 69003 smazet@grandlyon.com 0426993443
<div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;">  </div> <div style="text-align: right;">  </div>	
<p>1. 自治体の所在地(約4行) オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ州の州都であるリヨンは、東にはアルプス山脈、西にはマシフ・セントラル(中央高地)の間に位置する。</p> <p>2. 自治体の歴史(約4行) リヨンは国際貿易と商業の歴史において、常に特別な地位を占めてきた。ルネッサンス期以降、リヨンは世界有数の絹織物の産地として、国際的な評価を得ており、絹職人は紡績技術や機織り技術等の独自の技術を継承してきた。またリヨンと横浜は、数世紀にもわたり絹交流を行ってきた。</p> <p>3. 特徴(約4行) 海や山から2時間の位置にあるリヨンは、発達した通信網、活発な経済、文化、建築、美食、質の高い生活が評価されている。</p> <p>4. 主要産業及び特産品(約4行) 郷土料理レストラン「ブション」や星付きレストランが軒を並べるリヨンは、「美食の都」として名高く、シラ国際外食産業見本市をはじめとする、国際的な食イベントが多く開催されている。 また、リヨンは1989年に都市計画整備として照明計画を初めて導入した都市である。2002年にリヨンの主導で設立されたLUCI(Lighting Urban Community International)ネットワークには、世界70都市が加盟している。また、1989年から毎年12月に開催される光の祭典は世界的に名高い。</p> <p>5. 日本とのイベントや活動又は自治体のプロモーション(約4行) フランス最大の絹イベントである「Silk in Lyon」では、伝統を尊重しながらも、時代に合わせて技術を改良し、進化を続ける絹職人を紹介している。2021年の「Silk in Lyon」では日本の絹製品が展示され、日本が誇る絹技術をリヨン市民に</p>	

発信する機会となった。

6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例(テーマ、計画、実例など)

リオン市は2022年3月、在リオン領事事務所との共催で、リオン市庁舎にて日本酒紹介イベントを開催した。リオン国際関係・協力・連帯担当副市長出席のもと、日本酒の講演会と試飲を行い、日本酒生産者とリオンの食関係者が交流する機会になった。

自治体名		
州	Mamoudzou	
県		
面積	42km ²	
人口	71 437 人	
姉妹 （ 友好 ） 都市名	Madagascar, Togo, St Pierre St Pierre レユニオン島に あります , Nice, Caveirac	
担当者 連絡先 : (住所 - 電話 - E- mail)	Nadhirou Moustoifa m.nadhirou@mamoudzou.yt Zainal Ibrahim i.zainal-ambidina@mamoudzou.yt 0269 66 66 66	
7. 自治体の地勢（約4行） 島で最初のフランス人の部局の首都である真宗蔵の町		
8. 自治体の簡単な歴史（約4行）		

Mamoudzou は 1860 年代に首都を支えるために開発された地域です
都市化は、古くから存在する村々を徐々に統合してきました数世紀前に建てられたもので、河には 14 世紀、Mtsapé r é は 18 世紀末に建てられました。1830 年代にサカラバスによって設立された村、チョア (Pointe Mahabou) です

9. 特徴(約4行)

マモウドゥ三はマヨット島の行政の首都であり経済的な肺である

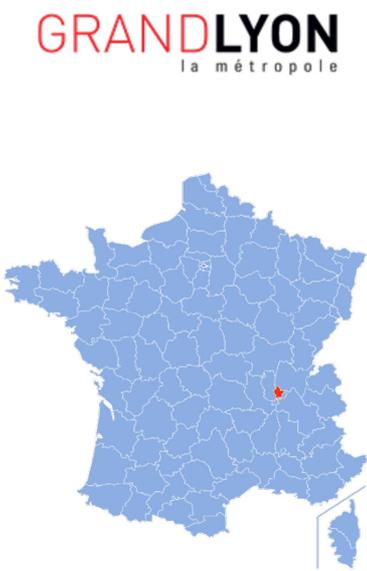
10. 主要産業及び特産品(約4行)

11. 日本とのイベントや活動又は自治体のプロモーション(約4行)

真宗蔵市は首都東京との関係を希望しています

12. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？(テーマ、計画、事例など)

この都市では、プロトコルと広報の観点からベストプラクティスを共有したいと考えています

リヨン・メトロポール		
州	オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ	
県	ローヌ	
面積	533,68 km ²	
人口	1 411 571 人 (2019)	
姉妹(友好)都市名	横浜	
担当者連絡先: (住所 - 電話 - E-mail)	マゼ・ソフィー 20 rue du Lac 69003 Lyon smazet@grandlyon.com 0426993443	
<p>1. 自治体の所在地(約4行)</p> <p>オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ州のローヌ渓谷の北に位置するリヨン・メトロポールは、59のコミューンで構成されている。ローヌ川とソーヌ川の二つの河川が流れているリヨン・メトロポールは主に集住都市地域で構成されているが、約4割は農業地域と山間地域である。</p> <p>2. 自治体の歴史(約4行)</p> <p>リヨン・メトロポールは、2015年1月1日に設立された特別な権利を有する地方公共団体である。リヨン・メトロポールは、メトロポール内に所在する59のコミューンに対して、県の権限と同等の権限を有している。2020年6月の地方選挙においてメトロポール議員150人が選出された。任期は6年。</p> <p>3. 特徴(約4行)</p> <p>リヨン・メトロポールは、交通、住宅、経済開発、水、ごみ廃棄に加え、中学校も管理している。また県の権限も有しており、雇用、生活保護、児童福祉、および障害者と高齢化に関する政策も行っている。メトロポールの2021年度予算は39億7千万ユーロ。</p> <p>4. 主要産業及び特産品(約4行)</p> <p>リヨン・メトロポールは、地元企業や研究開発機関とともに、産業の脱炭素化を支援し、地域の自立に不可欠な雇用と技能の創出を促進している。</p> <p>リヨン・メトロポール内における第二次産業は、全雇用の13%当たる75,550人の雇用を創出している。具体的には、金属工業13,500人、化学産業8,300人、製薬業界8,200人、エネルギー産業で7,800人。</p> <p>5. 日本とのイベントや活動又は自治体のプロモーション(約4行)</p>		

- 日本文化の発信：紙芝居自転車のデザイン。紙芝居台を設置した自転車3台を利用して、メトロポール内 40 の公立図書館や屋外で読み聞かせを実施。
- リヨン・メトロポールと横浜市は、フランス政府対外貿易顧問委員会（CCE）と在日フランス大使館主催のパネルディスカッション「低炭素都市の未来、新たなる視点 2021/2022」に共同で参加し、都市計画を紹介した。

6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例（テーマ、計画、実例など）

リヨン・メトロポールと横浜市の国際課は、定期的にビデオ会議を行い、両都市の気候変動政策について情報を共有し、パートナーシップの枠組みで有益な公共政策をどのように発展させるか議論を重ねている。

自治体交流基礎データシート

メトロポール・グラン・ナンシー／ナンシー市	
地域圏	グランテスト
県	ムルト＝エ＝モゼル県
面積	142km ² (メトロポール)
人口	257,000人(メトロポール)
姉妹(友好)都市名	金沢市
日仏交流窓口担当課	国際交流、魅力ある地域づくり メトロポール グラン・ナンシー 点田 永里奈 てんだ えりな
電話番号	Tél 0033(0)383853305
Email アドレス	eruban@mairie-nancy.fr



地勢

パリからTGVで1時間半の距離にあるナンシーは、フランス北東部グランテスト地域圏に位置し、EU創設国であるドイツ、ベルギー、ルクセンブルクとの国境沿いにある。この地理的条件を活かし、広域連合のネットワークである「シオン・ロレーヌ」やヨーロッパ、国際機関のネットワークにおいて、積極的に活動している。

都市の歴史、成り立ち

1766年フランスに統合されるまで、ロレーヌ公国は代々の公によって街づくりがなされた。最後の公であるスタニスラス公は、多くの傑出した建築物によってナンシーの街を変容させた。例えばナンシーの3つの広場が世界遺産に登録されており、その一つであるスタニスラス広場は、2021年、投票番組である「フランス人が一番好きな建築物」として選ばれた。

特徴

メトロポール・グランナンシーは、経済(グランテスト圏内で二位の経済規模)、大学(ロレーヌ大学、数々のグランゼコール)、科学技術(著名な研究機関、高度なセキュリティラボ)、文化(サン＝ニコラ祭、本の祭典、ナンシージャズフェスティバル、ひとときの庭園…)、医療(地域圏立大学病院、バーチャル病院)、スポーツ(ゴルフ、水上競技場、プール、ナンシーテルマリズムセンター温泉水治療施設)、自然(40の公園、庭園)の分野において質の高いサービスを提供している。またナンシー派(アール・ヌーヴォーの一派)は、ナンシーの文化生活に大きな影響を及ぼした。

主要産業及び特産品

- 電子経済、情報技術
- 美食、ロレーヌ郷土料理(ロレーヌキッシュ、ババ、ミラベル・ベルガモットの特産品)
- 生命科学(生物工学、環境、健康)
- ものづくり(高級家具師、陶芸家、石工、弦楽器職人、ガラス職人)

日本関連のイベント、活動について

- 2018年、金沢市との姉妹都市提携45周年を記念し、スタニスラス広場に、和風のひと時の庭園「ジャポニカ」を設置、サン＝ニコラ祭が日本を招待国とし、様々な日本文化紹介イベントを実施。
- 2023年、姉妹都市提携50周年の枠組みで、様々な日本関連イベントを予定
- 人的交流: 夏期研修生、奨学生、学生、研修医、医学生、エンジニア、職人、アーティスト、音楽家、パティシエ、ジャーナリスト、スポーツ選手等の派遣・受け入れ

日仏自治体間で情報交換したいテーマ、ベストプラクティスについて

自治体のSDGsの取り組みについて

ナント市



地域圏 県	ペイ・ド・ラ・ロワール ロワール＝アトランティック
面積	523 km ²
人口	(ナント市) 321 000 人 (ナント・メトロポール) 656 000 人
姉妹都市 / 提携都市	新潟－日本
担当者： (住所・電話・E-mail)	Louise COULON (ルイーゼ・クロン) louise.coulon@nantesmetropole.fr

1. 自治体の位置と地理的な状況(4行ほどで)

数々の城があることで知られるロワール河沿いに位置し、大西洋岸に近い。
ナントには国際空港、大きな港があり、パリからはTGVで二時間の距離にある。

2. 自治体の簡略な歴史(4行ほどで)

ナントとナントメトロポールは、現代の民主主義、エコロジー、デジタル等の移行に対応する新しいモデルを創り出すという野心を持つ。それを支えるのが、団結力、協調性に富み、大胆で創造的、そして「まるっきり西(並大抵ではない)」というこの地域の特性である。

3. 特色(4行ほどで)

- 豊かな文化的オファー(ロイアル・ド・リュックス、ラ・フォルジュルネ、ル・ヴォヤージュ・ア・ナント、ラ・マシなど)
- 航空宇宙、複合材料、医療・健康、文化創造産業の分野における卓越拠点
- マルチモードで革新的な公共交通網

4. 主要な活動分野; 特産品・名産品(4行ほどで)

航空宇宙、船舶・海洋、複合材料、ICCなど
特産・名産品: ミュスカデ・ロワールワイン、ビスケット、魚介類

5. 日本関連や地域振興を目的としたイベントや活動(4行ほどで)

交流協定調印: 1999年6月4日 正式な姉妹都市提携: ナント市にて2009年1月30日
ナント市と新潟市の姉妹都市関係は極めて活発である。両市の関係は1991年に始まり、精力的に発展を続けてきた。
- 自治体国際化協会の日本人研究者の受け入れに続き、ナント・新潟のオンライン交流、JETプログラム(Japan Exchange and Teaching)でナントの若者が新潟へ派遣;
- 2021年のテーブル・ド・ナント、新潟のお茶とお酒の文化を中心に美食と文化のプログラムがひき続き行われた。
- 展覧会『Périple nippon en temps de Covid (コロナ期の日本の旅)』新潟、2021年5月、6月;
- グラフィックアート部門がヴェルサイユ島のメゾン・ド・レルドルに提案した、2020年2月の旅を元にしたグラフィック作品(入場者12 157人)

6. 日本とフランスの自治体で共有したい優れた取り組みがあれば、教えてください(テーマ、プロジェクト、経験など)

コロナ禍およびポストコロナの文脈における、ソフトモビリティに関する経験の交換

*Fiche de présentation des collectivités participantes aux
6e Rencontres franco-japonaises de la coopération décentralisée*

メトロポール・ニース・コート・ダジュール		フランスの地図上に自治体の場所を示す
州 県	プロバンス・アルプス・ コート・ダジュール アルプス・マリチーム	
面積	1400 km ²	
人口	550 000人	
姉妹（友好）都市名	鎌倉市 姉妹都市提携：33 友好提携：21	
担当者連絡先： (住所 - 電話 - E-mail)	サンポール・ジュリア Julia SAINT-POL 0489981243 julia.saint-pol@nicecotedazur.org フィレンツ・モレッティ Florence MORETTI florence.moretti@nicecotedazur.org org 0645257061	

*Fiche de présentation des collectivités participantes aux
6e Rencontres franco-japonaises de la coopération décentralisée*

7. 自治体の地勢（約4行）

メトロポール・ニース・コート・ダジュールは地中海と南アルプスの間の橋を作る51町で構成されています。この区域はニースやカーニュ・シュル・メールという大きな町と小さな山の村で編成されます。

8. 自治体の簡単な歴史（約4行）

2009年6月に、山の村共同体はニース都市共同体と結びたいと要求しました。それから2010年12月16日の新しい法律でメトロポールの形成が可能になって、2012年01月一日にメトロポール・ニース・コート・ダジュールはフランスの最初のメトロポールになりました。

9. 特徴（約4行）

特別な地理で、メトロポール・ニース・コート・ダジュールは国内と国際の観光客に大変人気が出ました。一年中の青空は一つ、同じ滞在にスキー（六つのリゾート）とスキューバダイビングができることが恐らく人気の一つの理由です。とても変化に富んでいるその風景も自治体の一つのチャレンジです。

10. 主要産業及び特産品（約4行）

メトロポール・ニース・コート・ダジュールはフランス2番目の観光地で、国際空港に頼ります（1年に一千万の乗客）。そして大学も魅力があつて、3万5千人の学生がいます。メトロポールの経済発達も様々な政治理論に根拠をします。例えば、「スマート・シティー」（革新都市）や持続可能な開発などです。2018年に2番目の市街電車線が開会されて、3番線も建設され始めました。

11. 日本とのイベントや活動又は自治体のプロモーション（約4行）

2016年に50周年記念が行われた姉妹都市提携の一環として、ニースは鎌倉市と深い関係で結ばれています。そして2017年11月に、プロバンス・コート・ダジュール州を中心とした在仏日本商工会議所のガラが行われまして、メトロポール・ニース・コート・ダジュールの魅力も紹介されました。

12. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、実例など）

メトロポール・ニース・コート・ダジュールの主な対策は公共スペースの安全化です。そのために、フランスの先駆的なCSUという、都市の2000個カメラを監視する所は作られました。

再開発地区・乗換駅・イベント所・「グラン・アレナス」

空港と電車と市街電車と市バスを繋ぐ未来の乗換駅のおかげで、「グラン・アレナス」っていう再開発地区の魅力は非常に発達します。地中海の中心にある国際的な地域であるメトロポール・ニース・コート・ダジュールは南ヨーロッパでビジネスをしたい社会にとって、非常に戦略的な選択です。

自治体名	
州 県	オクシタニー / ピレネー＝メディ テラネ地域圏
面積	72 720 km ²
人口	5 933 185 人
姉妹(友好)都市名	愛知県 京都府
担当者連絡先： (住所 - 電話 - E-mail)	Martin BAER - オクシタニー地 域圏政府駐日代表事務所 在日フランス大使館 〒106-8514 東京都港区南麻 布 4-11-44 080-1389-5145 martin.baer@laregion.fr ・大 学間の交換留学や子供たちの 交流 ・観光の発展 ・経済交流



1. 自治体の地勢(約4行)

フランス南部に位置する、フランスでも2番目に大きいこの地域圏は、28のEU加盟国のうちの13か国よりも広大な面積を誇ります。ピレネー山脈から中央高地まで、ジュールの谷から地中海沿岸、そしてガロンヌ川からローヌ川に至るまで、他では目にすることのできない変化に富んだ風景を有しています。

2. 自治体の簡単な歴史(約4行)

2016年1月1日、フランスの地域券改革により、旧ラングドック・ルシヨン地方とメディ・ピレネー地方が合併してオクシタニー / ピレネー＝メディテラネ地域圏が誕生しました。

3. 特徴(約4行)

地域圏は国内第2位の規模を誇り、13の県、GDP第4位、企業設立率では第1位、35のグランゼコール、2つの大学、8つの世界遺産、歴史的建造物では第3位、2つの国立公園、1つの海洋自然公園、6つの地域自然公園、215 kmの海岸、そして10の空港があります。

4. 主要産業及び特産品(約4行)

ブドウ栽培 : 世界で最も大規模な AOC ワインのブドウ栽培地があります。

農業 : 地域圏面積の半分を占め、BIO (有機農業) や大規模農業においては国内第 1 位を誇ります。

研究 : 1 年あたり 55 億ユーロの国による投資。フランスにおいて第 1 位の研究地域、ヨーロッパでは第 20 位。

航空宇宙産業 : トールーズに拠点。Airbus グループの本社。

観光 : フランス第 4 位の観光地域圏

地域の特製料理 : カスレ、牡蠣、トリュフ、鴨肉のコンフィ、アルマニャック、ワイン、ロックフォール、ピレネーのトムチーズ

5. 日本とのイベントや活動又は自治体のプロモーション(約4行)

企業との技術・業務提携を目的とした経済ミッション(2016 年、2018 年、2019 年に日本訪問)

Aeromart Toulouse 見本市(航空・宇宙)における日本企業団の受け入れ

スポーツ競技大会の推進 (2022 年フィギュアスケート世界選手権、2023 年ラグビーワールドカップなど)

オクシタニー地方におけるジャパン・ウィークの開催(2022 年 11 月 26 日~2022 年 12 月 2 日、在フランス日本国大使館共催との共催で)

6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか?(テーマ、計画、実例など)

地域計画と地域活性化

大学間の交換留学や子供たちの交流

経済交流

パリ市		
地域圏	パリ市	
県		
面積	105.4 km ²	
人口	2,165,423 人	
姉妹(友好)都市名	- 東京都 - 京都市	
担当者連絡先: (住所 - 電話 - E-mail)	クレール・メッセ (Claire Messé) claire.messe@paris.fr	
<p>1. 自治体の地勢(約4行)</p> <p>パリ市は約220万人の住民を数え、5万人ほどの公務員を雇用しており、フランスで最大の行政組織の1つです。</p> <p>フランスの首都であるパリは、国賓の訪問や都市間の会合、文化・スポーツのイベント、より専門的な代表団の交流の枠組みにおいて、数多くの外国の代表者を迎え入れています。2024年には、オリンピックおよびパラリンピック大会がパリ市で開催されます。</p> <p>2. 自治体の簡単な歴史(約4行)</p> <p>首都であり、コミューン(1871年)の舞台となった都市であるパリは、歴史的に、国家がこの自治体を管理下に置き続けるように形成されてきました。例えば、パリ市で市長が選出されるようになったのは、1975年12月15日の法律以降のことです(他の自治体は1882年から)。さらに、パリは、自治体警察の権限の一部が国家公務員である警察長官に委ねられているフランスで唯一の都市です。</p> <p>3. 特徴(約4行)</p> <p>行政上、パリはコミューンであると同時に県でもあります。したがって、パリには社会的問題や中学校の管理といった県の権限と、都市計画、小学校、公園や娯楽、廃棄物管理などの市の権限の両方が委ねられています。</p> <p>4. 主要産業及び特産品(約4行)</p> <p>パリの国際的な活動は、魅力と革新、都市エコロジー、国際連帯、都市間の協力に関する</p>		

当自治体の優先事項の一環をなしています。

パリ市は複数の都市ネットワーク(CGLU(都市・自治体連合)、C40(世界大都市気候先導グループ)、AIMF(フランコフォン市長国際協会)など)に参加しており、国際的に100以上の都市とのプロジェクト(協力、HIV/エイズとの闘い、水へのアクセス、廃棄物管理、人権擁護、男女平等および人のすべての人の平等の促進)を主導しています。

2018年には、歴史上初めて、グランパリのホテルの来客数が2300万人を超えました。世界で最もゲイフレンドリーな都市に選ばれた一方で、10万平方メートル以上がスタートアップ企業の拠点に充てられ、40以上のインキュベーターを擁するパリ市は、比類のないイノベーションの都市でもあります。

5. 日本とのイベントや活動又は自治体のプロモーション(約4行)

日本の都市との提携は、多様でありながら補完的な焦点を中心として発展してきました。東京都との提携は、文化と都市協力(都市計画、交通、リスク防止など)に関する交流が主となっています。2015年に交流・協力に関する合意書が更新されて以降、スポーツや観光の分野にも交流が広がっています。京都市に関しては、文化、都市および歴史的遺産が交流の中心となっています(京都で開催されたニュー・ブランシュ(白夜祭)のイベントなど)。広島とは、世界平和と連帯を促進する共同の取組みが確立されました。また、2011年3月11日に日本を襲った震災以降、パリ市は福島との間に非常に強い結びつきを築いています。

2021年夏、東京で開催されたオリンピック・パラリンピック大会の開会式および閉会式の際に、パリ市長が日本を訪れました。パリ市もまた、2024年に両大会の開催都市となります。

2022年にパリ市と東京都は友好都市提携40周年を迎えました。2022年1月には、日仏友好関係に資する活動が称えられ、パリ市長に旭日章が贈られました。

6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？ (テーマ、計画、事例など)

毎年、パリ市はアンスティチュ・フランセと提携して、違う都市と文化的対話を開始し、一連の文化的な交差イベントを計画しています。これらの文化的連携は、両都市の市民お互いの文化シーンの活力を感じてもらうことを目的としています。

2018年の「ジャポニスム」と「パリ東京文化タンデム」の期間にパリで開催された文化イベントは、パリと日本の間の文化交流の集大成となりました。これらのイベントにより、パリ市民と東京都民は文化的交差プログラム「現代性と伝統の間」を体験することができました。タンデムに選ばれたこのテーマを通じて、あらゆる形態の芸術的創造が提示されただけでなく、両都市の伝統と遺産にスポットが当てられました。

現在、パリと日本の芸術的および文化的交流は、特に東京都と京都市との提携の下で「ア

トリエ・ド・パリ」が主導するデザイナー／アーティスト間の2つの交流プログラムによって、継続しています。これらのプログラムは、文化的・芸術的交流を促進するだけでなく、日本とフランスに固有の伝統的な職人技術も推進しています。

第7回日仏自治体交流会議
参加自治体紹介資料

自治体名 ポー(Pau)		<p>フランスの地図上に自治体の場所を示す</p> 
州県	ヌーヴェル＝アキテーヌ地域圏、ピレネー＝アトランティック県	
面積	31.45km ²	
人口	75,627 人	
姉妹(友好)都市名	甲府市(日本)、ダロア(コートジボワール)、ゲッティンゲン(ドイツ)、モービル(アメリカ)、ピストイア(イタリア)、サラゴサ(スペイン)、セトゥーバル(ポルトガル)、スウォンジー(ウェールズ)、西安市(中国)	
担当者連絡先: (住所 - 電話 - E-mail)	<p>Philippe Sinapian フィリップ・シナピアン(地域魅力開発・経済発展担当部長) p.sinapian@agglo-pau.fr</p> <p>Valérie Demangel ヴァレリー・ドゥマンジェル(欧州・国際事業担当部長) v.demangel-dejean@agglo-pau.fr</p> <p>2bis place Royale 64000 Pau +33 5 59 27 85 80</p>	
<p>1. 自治体の地勢(約4行)</p> <p>ポーはフランス南西部、スペインとの国境近くに位置し、トゥールーズやボルドーまで2時間以内、大西洋の海岸まで1時間以内、また、最寄りのスキー場まで30分以内と、地理的に恵まれている。ポーについて、詩人アルフォンス・ド・ラマルティーヌはこう書いている:「ナポリが世界で最も美しい海の景色を誇るごとく、ポーは最も美しい山の景色を誇る場所である。」</p> <p>2. 自治体の簡単な歴史(約4行)</p> <p>ポーはかつて歴史ある旧ペアルン地方の首都であり、2人の国王を生み出した土地である。その1人で1553年に生まれたアンリ4世の生家であるお城は、今も見学することができる。もう1人のジャン＝バティスト・ジュール・ベルナドット(カール14世ヨハン)は1793年に生まれ、現代まで続くスウェーデン王家</p>		

とノルウェー王家の始祖である。19・20世紀に、ポーは保養地として人気を集め、世界中の多くの知識人が新鮮な空気を吸いに訪れていた。

また、1909年、ライト兄弟は世界初の航空学校をポーに設立した。

3. 特徴(約4行)

ポーは「Pau Capitale Humaine」(意訳:都市の機能を集積した住民にやさしいまち)を掲げ、質の高い公共施設・サービスや、ダイナミックな企業ネットワーク、才能・スキルあふれる豊かな人的資本などを誇る、大都市の全てのメリットを備えるまちである。

4. 主要産業及び特産品(約4行)

ポー盆地はフランス第6位の研究開発センターである「トタルエナジーズ」の探査・生産研究センターをはじめ、「サフラン・ヘリコプター・エンジンズ」や、農業協同組合の「ウラリス」、世界のはちみつ業界のトップ企業である「ファミュー・ミショー」や、「アルケマ」、「エア・リキード」、「サノフィ」、「東レ株式会社」などの化学業界のトップ企業など、知名度の高い多くの大企業の拠点になっている。さらに一流大学があり、地球科学分野の競争力拠点(産業クラスター)でもある。

5. 日本とのイベントや活動又は自治体のプロモーション(約4行)

ポーは甲府市と姉妹都市提携しており、甲府市の協力により、ピレネー山脈に面した日本式庭園が造られた。市内には、9つの日本関連の組織が存在している。

スポーツの面では、ポーはツールドフランスの舞台になった回数が3番目に多いまちであるほか、市街地サーキットを使用したモーターレースグランプリが70年前から開催されているフランス唯一のまちとしても知られている。さらに国内でも有数の規模を誇るサッカー・バスケットボールの3つのプロスポーツクラブの本拠地であり、フランスカヌー代表チームの練習拠点にもなっている。

また、ポーは演劇・舞踊・交響楽団・ジャズの国際的な長期イベントや、「Les Idées mènent le monde」(訳:アイデアが世界を導く)という大規模な文学サロンなどのイベントを毎年開催し、文化の中心地としても有名である。

6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか?(テーマ、計画、事例など)

ポーは先駆都市を目指し、常に新たな技術革新を積極的に取り組もうとしている。一例として2019年、ポーは世界初の長さが18メートルを超える水素バスを披露した。ポー産の自然エネルギーを使用する、温室効果ガス排出ゼロのこのバスは、「バスワールドアワード2019」で「大賞」を受賞した。

トゥール市	
州 県	サントル・ヴァル・ド・ロワール アンドル・エ・ロワール (37)
面積	34,67 km ²
人口	137.000 人
姉妹／友好 都市名	高松市(香川県)
担当者連絡 先: (住所－電話 －E-mail)	Marie-Bernard Amirault-Deiss マリ・ベルナール アミロ・デス m.amirault-deiss@ville-tours.fr



8. 自治体の地勢(約4行)

トゥール市は、ユネスコの世界遺産に登録されているロワール渓谷の入り口、そしてヨーロッパのコミュニケーション軸の中心地となっています:トゥール市はフランス国内の様々な主要都市の中心に位置し、アクセスも非常に便利です。また、ロワシー・シャルル・ド・ゴール空港からも、直通 TGV にて1時間35分でトゥール市のセンターにある駅へ着くことができます。トゥール・ヴァル・ド・ロワール空港からは、ロンドン・スタンステッド空港へも定期便が飛んでおり、世界中数十の都市とも繋がるハブ空港となっています。

9. 自治体の簡単な歴史(約4行)

紀元後1世紀に設立されたこの古代ローマの都市は、歴史上何度もフランスの主要都市となり、特にルネサンス期の王の住居となる王立都市でした。昔から、トゥール市はトゥールのサン・マルタン、シャルルマーニュ、ジャン・フーケ、ラブレー、ルネ・デカルト、オノレ・ド・バルザックなどの著名人を魅了したのでした...

10. 特徴(約4行)

トゥール市は歴史や自然遺産の愛好家にとっては理想的な場所と言えます。人類世界遺産に登録されているフランス最大級の景勝地、すなわち「フランスの庭園」の中心であるロワール渓谷に位置するトゥール市で、都市型の散策をお楽しみいただけます。

「アール・ド・ヴィーヴル」(生活芸術)でも知られており、観光客は、花市場、カフェのテラス、ロワール河のほとり、ロワール・ア・ヴェロ(サイクルロード)、または旧市街の商店街を楽しみにトゥール市を訪れます。フランス文学とフランス語学でも名高く、トゥール市はフランスの中でもアクセントの無いフランス語を話すことで有名です。トゥーレーヌ語学学院をはじめとし、数々の学校でフランス語が教えられています。

11. 主要産業及び特産品(約4行)

魅力ある都市造り、40 を超える公私研究所によるクリエイションとイノベーションの分野、企業集合体、クラスター、大学を中心に集まった 1500 人ほどの研究者、CEA(核エネルギー研究所)、INRA(国家農学研究所)など、メトロポールの管轄地域は研究分野において大きな可能性を秘めています。中でも、新しい研究プログラムを奨励する以下の 6 つの企業集合体が挙げられます: Atlanpôle Biothérapies : バイオ医薬品 / Cosmetic Valley : 香水ー化粧品 / Dream Eau et Milieux : 水と水環境に関連するエコテクノロジー / Elastopôle : ゴムとポリマー : S2e2 / 電気エネルギー技術とスマートグリッド : Végépolys : 植物

トゥール市は、ヴィラ・ラブレを有する *国際食文化都市* となり、食文化と歴史に関するヨーロッパ研究所、*Vitiloire* というワインとガストロノミーに関するイベント、更には以下のような世界中から認められている様々な地元の特産物と作り方のノウハウがあります: ブドウ畑、サントモールの山羊のチーズ、トゥーレーヌ地方のリヨントリエツト、トゥーレーヌ地方のジェリーヌ鶏、トリュフ、フラス、そしてヌガー・ド・トゥール。

12. 日本とのイベントや活動又は自治体のプロモーション(約4行)

2011 年以降、トゥール市は毎年 9 月に高松市の若者 2 名の受け入れを行なっています。高松市の若者親善大使達は、トゥール市と周辺地域を訪れたり、様々なアトリエを催したり、学校の訪問を行い、トゥール市民との触れ合いの場を設けています(コロナ感染症の状況を考慮して 2020 年、2021 年、2022 年はキャンセル)。そして 2022 年秋に初めて相互交流プログラムの一環として、2 名の親善大使をトゥール市から高松市へ派遣することになりました。

また 2012 年より、トゥール市は毎年日本をテーマとした日を設けています。中でも、2017 年より「日本の色に染まる植物公園」と題して、食、文化、観光、語学、アール・ド・ヴィーヴル、庭園芸術などを披露しています。

さらには 2015 年以降、Tours Evènements(トゥール・エヴェヌモン)社により *Japan Tours Festival* が開催されており、初回から大きな成功を納めています <http://www.japantoursfestival.com/>。2022 年 7 月開催の *Japan Tours Festival* においては、25 186 人という過去最大の入場者数を記録しました。Covid-19 によるパンデミックにより、この第 7 回目のフェスティバルは何度も延期されたにもかかわらず、2019 年よりも 30% 増の入場者となりました。

13. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？(テーマ、計画、実例など)

トゥール市で開催された第 5 回日仏自治体交流会の前日である 2016 年 10 月 4 日に、トゥール市とその公園、ヴィランドリー城、そして高松市の玉藻公園との間で三者協定が結ばれました。この三者協定は、それぞれの経験、ノウハウ、公園保護の実践、史跡にまつわるイベント、経済と観光の発展のベクトル、そして生活レベルの要因を強化することを目的とし、毎年「日本の色に染まる植物

公園」と題されたイベントを市民に向けて開催しています。パンデミックの期間中も、高松市はトール市民に向けてビデオ媒体(生け花、盆栽と日本庭園の手入れなど)を発信し、積極的に活動を行なってくれました。

2022年3月31日には、フランス風公園の中に、高松市大西秀人市長ならびに高松市議会により、トール地方の遊具会社 Proludic 社(ヴーヴレイ)により作られた「トール城」と題する遊具を設置した遊び場の落成式が行われました。このマルチ遊具は、トゥーレーヌ地方を有名にしたロワールの古城からインスピレーションを受けて作られました。このプロジェクトの実現は、トール市と高松市の協力の賜物です。プロリュディック社のデザイナーとトール市の関係部署の密な協力のもとに作り上げられたコンセプトです。

朝来市

都道府県	兵庫県
面積	403.06 km ²
人口	28,910 人
姉妹(友好)都市名	バルビゾン※芸術文化交流都市
担当者連絡先: (住所 - 電話 - E-mail)	住所: 兵庫県朝来市和田山町 東谷 213 番地 1 電話: 079-672-6122 E-mail: jinkensuishin@city.asago.lg.jp



1. 自治体の地勢

朝来市は兵庫県のほぼ中央に位置し、神戸市からは高速道路を部の但馬・山陰地方と阪神間を結ぶ交通の要衝の地にあります。また、に流れる市川の源流地域で、兵庫県の南北の分水嶺を有しています。

2. 自治体の簡単な歴史

朝来市には豊かな自然と数多くの遺産があります。中世から近世にかけての遺産があるほか、文化勲章受章者の彫刻家、多くの芸術家を輩出しており、あさご芸術の森美術館を中心に芸術による町おこし・交流を推進しています。また、平成 29 年 4 月には、朝来市のいくつかの観光スポットを含む「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」が日本遺産に認定されました。

3. 特徴

朝来市は、豊かな自然と数多くの遺産があります。「茶すり山古墳」を始めとする多くの古代遺産、国史跡の「竹田城跡」や史跡の「生野銀山」などの中世から近世にかけての遺産、また、由緒ある神社・仏閣・各地に伝わる伝統芸能などの歴史文化遺産、それから四季折々の自然に包まれたキャンプ場、公園、温泉などが数多くあります。

4. 主要産業及び特産品

朝来市は、地場産業である金属ばね産業とそれから発展した金属加工等の先端産業、豊かな水資源を活かした食品製造業が地域の経済を牽引しています。また、本市の気候と土壌が育んだ「岩津ねぎ」は本市を代表する特産品であり、冬場の冷え込みが厳しくなると独特の風味と甘みが増し、多くの方に好んで食されています。

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション

平成 20 年度からバルビゾン村と締結して、芸術文化交流を行っています。お互いの町の芸術家が行き来し、現地での滞在公開制作や子供の作品の交換展示を始め、近年参加型芸術文化交流に向けて友好 10 周年を記念する写真コンテストを両市で同時に開催して、学生派遣事業も行いました。

6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？(テーマ、計画、実例など)

朝来市とバルビゾンの両首長は、平成 29 年から定期的な電話会談を開催して、両市の交流方針について懇談します。そのお陰で、色々な事業を展開することができ、今後はバルビゾン村を有名にした風景画や農民画を描いた画家の一派であるバルビゾン派が発生してから 200 年が経ち、その記念を迎え、芸術家派遣事業を展開していきたいと考えています。

兵 庫 県	
都道府県 市町村	兵庫県
面 積	8,400.94km ²
人 口	5,409,642 人(R4.5.1 現在)
姉妹(友好)都市名	セーヌ・エ・マルヌ県、 アンドル・エ・ロワール県 アヴェロン県、ノール県、
担当者連絡先： (住所 - 電話 - E-mail)	産業労働部国際局国際課 神戸市中央区下山手通 5-10-1 +81(78)362-3026 kokusaika@pref.hyogo.lg.jp
<div style="text-align: right;">  </div>	
<p>1. 自治体の地勢</p> <p>兵庫県は、大都市から農山村、離島までさまざまな地域で構成されており、多様な気候と風土を通して、海水浴やスキー、温泉などの多彩なレジャーが楽しめることから、「日本の縮図」といわれています。特に、歴史や風土、産業などの違いから、摂津、播磨、但馬、丹波、淡路の個性豊かな5つの地域に分けることができます。</p> <p>2. 自治体の簡単な歴史</p> <p>兵庫県は1868年に誕生しました。県を構成する摂津、播磨、但馬、丹波、淡路は古くから特色のある文化を育んできました。同時に、古くから海陸交通の要衝であったことから、国内外との交流拠点として発展してきました。特に、1868年の神戸開港以来、世界への窓口として発展し、日本における国際貿易拠点だけでなく、国際文化の交流拠点としても重要な役割を果たしています。</p> <p>3. 特徴</p> <p>神戸、阪神、播磨地域は、県の人口の90%強を占め、産業が集積する大都市地域です。一方、但馬、丹波、淡路地域は、美しい山々、海、川など、豊かな自然に囲まれた農林水産業の盛んな地域です。また、国宝・世界文化遺産の姫路城や日本最古の温泉である有馬温泉等の観光資源にも幅広く恵まれており、多くの観光客が訪れています。</p> <p>4. 主要産業及び特産品</p> <p>「ものづくり県」ともいわれる兵庫県は、鉄鋼、造船、機械等の重厚長大産業で長い歴史を誇ってきましたが、他方で、広大な県土から生まれた農産物(黒豆、そば、牛肉等)や、海の恵みである水産物(松葉ガニ、タコ、アナゴ、鯛等)、時代を超えて受け継がれてきた工芸品(そろばん、刃物、焼物、杞柳細工等)から、味わい深い銘酒や銘菓にも恵まれています。</p> <p>5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション</p>	

・セヌ・エ・マルヌ県：人物交流（企業研究生の受入、日仏交流コーディネーターの派遣）

・アヴェロン県：自然・科学交流（県立人と自然の博物館でのフェアブル展開催）

・ノール県：経済交流（フランス・ひょうご経済フォーラムの開催）

これに加え、アンドル・エ・ロワール県のサンシール仏日協会と神戸日仏協会が姉妹提携するなど、幅広い分野で交流を行っています。

6. フランスの自治体と共有できる良い事例はどのようなものがありますか？

＜ウクライナ避難民の受入れについて＞

ロシアによる武力侵攻により、ウクライナでは民間人を含めて多くの犠牲者が出ており、多くの方々が国外への避難を余儀なくされています。

兵庫県では、県内在住の親族、知人等を頼ってウクライナから本県に一時避難された方々が安心・安全に過ごすことができるよう、生活支援を行っています。

兵庫県国際交流協会の外国人県民インフォメーションセンター内に、ウクライナ避難民等相談窓口を開設し、多言語によるワンストップ相談を受け付けています。また、ふるさとひょうご寄附金に、「ウクライナ緊急支援プロジェクト」を新たに立ち上げ、5,000万円を超える寄付をいただいています（6月1日現在）。この寄附金を財源として、「ひょうごウクライナ避難民生活支援金」による生活支援を行っています。加えて、日常生活や就労に関し、避難民のニーズに応じた物資やサービスを提供するため、「公民連携プラットフォーム ひょうごウクライナ避難民支援サイト」を開設しました。企業、法人、団体の方々に支援メニューを登録いただいております。県・市町・企業等による支援の輪を広げています。

岩手町	
州	岩手県
県	岩手郡岩手町
面積	360.46 km ²
人口	12,226人
姉妹(友好)都市名	特になし
担当者連絡先: (住所 - 電話 - E-mail)	岩手町みらい創造課 担当 熊谷 洋造 〒028-4211 岩手県岩手郡岩手町大字 五日市第10地割44番地 電話 +81(0)195-62-2111 (内線 212) e-mail mirai- 1@town.iwate.iwate.jp



岩手町



1. 自治体の地勢

岩手県の内部から北部、県庁所在地である盛岡市の北に位置し岩手県中央部を北
 「北上川」の源流のある町である。面積の76%が山林や原野で占められ、農業や畜産が盛んである。
 町内には新幹線の駅である「いわて沼宮内駅」があり、首都圏からのアクセスが約2時間30分と良好
 である。

自治体の簡単な歴史

1057年頃、東北遠征中の将軍が、兵馬の水の補給のため掘った泉が、北上川の源泉になった伝説がある。1955年(昭和30年)7月21日 - 沼宮内町・一方井村・川口村・御堂村が合併し、岩手郡岩手町が発足した。かつて奥州街道の宿場町として栄え、鉄道を用いて材木やキャベツ等を首都圏に輸送する資源供給基地であった。2020年には内閣府が選定する「SDGs 未来都市」に選ばれた。

2. 特徴

東北一の生産量を誇るキャベツを象徴とする農業が盛んであり、岩手県一の野菜総合産地である。広大な土地を活かして、自然のままの放牧を行うなど畜産も盛んである。1973～2003年まで行われた「岩手町国際石彫シンポジウム」を背景に、野外彫刻美術館「石神の丘美術館」が開館されている。

3. 主要産業及び特産品

・キャベツ

→「キャベタリアン宣言(ドレッシング)」「ゆずれぬ想い(ドレッシング)」「キャベ耐」

・ブルーベリー

→「ブルーベリーカレー」「ブルーベリーワイン/ジュース」

4. 日本とのイベントや活動又は自治体のプロモーション

- ・SDGsTour の実施
- ・アイルランド女子ホッケーチームのホストタウン
- ・岩手町秋祭り
- ・郷土芸能
- ・石神の丘美術館や彫刻公園等、町内に石彫が点在する屋外アート展示

5. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、実例など）

- ・産品の交流
- ・農業に対する自治体の取り組みに関する情報交換
- ・ICT 技術を活用した農業に関する技術交流

金 沢 市

都道府県	石川県
市町村	金沢市
面積	468.79 km ²
人口	460,379 人
姉妹(友好)都市名	ナンシー市
担当者連絡先： (住所 - 電話 - E-mail)	国際交流課 076-220-2075 kokusai@city.kanazawa.lg.jp



1. 自治体の地勢

金沢市は、日本のほぼ中央に位置します。春と夏は比較的好天の日が多い反面、冬は雨や雪の日が続きます。市内には山も海もあり、自然に恵まれた環境です。その一方で、日本海側有数の都市として広域交通網も発展しており、北陸新幹線をはじめとするJRや高速道路網の充実により、アクセスが向上しています。



2. 自治体の簡単な歴史

約430年前、有力な武士であった加賀藩前田家の城下町が整備され、現在の金沢のまちの原形となりました。城のまわりには、武士の屋敷地、活気あふれる商人町、城下を守るように配された寺院群などが形成され、日本有数の城下町として栄えました。

3. 特徴

藩政時代の美しいまちなみが現在も多く残っています。城下町として栄え、多彩な伝統工芸や伝統芸能が息づいています。さらに、世界的に評価の高い現代的建築も建設され、日本らしい情緒と新しい感性・創造性という新旧両方の魅力が楽しめるまちです。また、大学等の高等教育機関が集積し、「学都」としても知られています。

4. 主要産業及び特産品

加賀友禅、金沢仏壇、金沢漆器、九谷焼、金沢箔、加賀繡など伝統工芸が今も受け継がれています。数多くの日本海でとれる海産物や藩政時代から受け継がれている加賀野菜など、自然の恵みから作られる食文化も豊かです。また、機械・金属の分野を中心に、独自の技術・技能を持つニッチトップ企業が多く立地しています。

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション

来年、姉妹都市提携 50 周年を迎えるナンシー市とは、教育、文化、芸術分野等、多様な交流を

続けてきました。また、日仏自治体交流会議やユネスコ創造都市ネットワークといった枠組みを通し、他の仏自治体との交流も積極的に行っています。2021年夏の東京オリンピック・パラリンピックでは、フランスのホストタウンに登録し、水泳とウエイトリフティングの代表選手団の事前合宿を金沢で受け入れました。

6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、事例など）

文化とスポーツイベントの誘致や開催支援を行う「金沢文化スポーツコミッション」を設立したほか、スポーツで人とまちを元気にするためにスポーツ文化推進条例を制定するなど、スポーツ文化を本市の新しい個性と位置づけ、地域の活性化とまちの魅力の創出をはかっています。

熊本市

都道府県	熊本県
市町村	熊本市
面積	390.32km ²
人口	737,423 人 (令和 4 年 6 月 1 日現在)
姉妹(友好)都市名	エクサンプロヴァンス市
担当者連絡先: (住所 - 電話 - E-mail)	熊本市中央区手取本町 1-1 096-328-2070 kokusai@city.kumamoto.lg.jp



1. 自治体の地勢

熊本市は、東は阿蘇山を臨み、西は有明海に面し、清らかな地下水や豊かな緑などの自然環境に恵まれた九州中央の拠点都市です。気候は内陸盆地的で寒暖の差はありますが、年平均気温は16℃前後と温暖です。

2. 自治体の簡単な歴史

肥沃な土壌と豊かな有明海に恵まれた熊本市は、古代から人が定住し、8世紀には肥後国の国府が置かれました。1588年に封ぜられた加藤清正が、まちのシンボルである熊本城を築城し、治水や干拓などの土地開発を行ったことにより、現在までの城下町の発展の礎が築かれました。明治22年(1889年)の市制施行以降、合併をはじめとする市域の拡大等によって発展してきた熊本市は、2012年4月に政令指定都市に移行し、今年で10周年を迎えました。

3. 特徴

熊本市は、熊本城を中心とした城下町として発展し、20世紀以降は、九州の中央に位置する地理的優位性から、国の出先機関が数多く設置されてきました。現在は人口約74万人、近隣市町を含む都市圏では100万人を超える人口を有し、水道水源の100%を地下水でまかない、大学や医療機関等が数多く立地する暮らしやすい都市です。

4. 主要産業及び特産品

市の産業では、清らかで豊富な地下水が育む柑橘類や野菜、また、有明海で生産される高品質のノリの生産など多様な農水産業が挙げられます。また、自動車関連企業や半導体関連企業が数多く立地する一大集積地となっています。

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション

1992年、熊本市在住の能楽師・狩野琇鵬(かの しゅうほう)氏がエクサンプロヴァンス市に総檜の能舞台を寄贈したことを契機として、民間・行政双方のレベルでの交流が30年にわたって行われています。また、2013年2月にエクサンプロヴァンス市と交流都市協定を締結し、2018年10月には第6回日仏自治体交流会議を熊本市で開催しました。

6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？

- ・歴史的遺産(熊本城)の復元を生かしたまちづくり

※熊本地震後、シビックプライドに後押しされた復興、観光振興に向けた取り組み(今後)。

- ・地下水保全の取組

三朝町

資料9-1

都道府県	鳥取県
市町村	三朝町
面積	233.52 km ²
人口	6,078 人
姉妹(友好)都市名	ラマルー・レ・バン
担当者連絡先: (住所 - 電話 - E-mail)	三朝町観光交流課 鳥取県東伯郡三朝町大瀬 999 番地 2 0858-43-3514 kankou@town.misasa.tottori.jp



1. 自治体の地勢

三朝町は、鳥取県のほぼ中央に位置し、町総面積の約 90%を山林が占める自然豊かな町です。山々が急峻で谷が深く、町内のいたる所で美しい渓谷を見ることが出来ます。中国山地に影響を受けた日本海型気候に属し、冬には平野部でも積雪が見られます。

2. 自治体の簡単な歴史

三朝町は、昭和 28 年 11 月に5つの村が合併して誕生しました。ラドン温泉で有名な三朝温泉は 850 年以上前に発見されたといわれており、豊富な温泉資源や広大な山林資源をもとに旅館サービス業や農林業を中心に栄えてきました。

3. 特徴

わが国最古の神社本殿形式の建造物である国宝・投入堂(なげいれどう)を擁する、山岳仏教の霊場三徳山(みとくさん)や世界屈指のラドン含有量を有する三朝温泉など豊かな自然と観光資源に恵まれ、平成 27 年に文化庁の日本遺産に認定されました。

4. 主要産業及び特産品

観光業と農林業を主要産業とし、特産品には次のようなものがあります。

農産物:三朝米、神倉大豆、梨、和牛、酪農

その他:三朝みすと(温泉化粧水)

5. 日本とのイベントや活動又は自治体のプロモーション

ラジウムの発見者である科学者マリー・キュリーの遺徳を讃える「キュリー祭」を開催し、今年で 65 回目を迎えます。これは、三朝温泉のラドン含有量が世界有数であることから始まったもので、毎年、フランス大使館から来賓をお迎えするなど夏の一大イベントとして定着しています。

6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？(テーマ、計画、実例など)

三朝温泉では現在、旅館と町内の病院とが連携し、温泉を活用した鉱泥湿布治療といった温泉療法等により、三朝の自然を満喫しながら温泉で自然治癒力を高める「現代湯治」の取り組みを進めています。

奈良県	
州 県	奈良県
面積	3,690.94 km ²
人口	1,325,437 人
姉妹(友好)都市名	中国・陝西省 韓国・忠清南道 スイス・ベルン州 ウズベキスタン・サマルカンド州
担当者連絡先： (住所 - 電話 - E-mail)	担当：西本 住所：奈良県奈良市登大路町 30 電話：0742-27-8477 E-mail：nishimoto-nao1a@office.pref.nara.lg.jp



1. 自治体の地勢

奈良県は日本のほぼ中央部、紀伊半島の真ん中に位置し、周辺を山岳に囲まれ
庁所在地は奈良市です。

当県には盆地や高原、山があり、自然が豊かなところです。おおむね温暖な気候ですが、南北で気候の差が大きいことが特徴です。

2. 自治体の簡単な歴史

奈良県には、飛鳥の宮都、藤原京、平城京という日本で最初の都が置かれ、3世紀から8世紀まで600年にわたり日本の政治・経済・文化の中心地でした。「法隆寺地域の仏教建造物」「古都奈良の文化財」「紀伊山地の霊場と参詣道」の3つの世界遺産を有し、貴重な歴史的建造物や文化財が数多く残されています。

3. 特徴

県内に3つの世界遺産を有し、国宝・重要文化財に指定されている建造物・文化財が数多く残されており、日本文化の礎となった奈良の奥深い歴史を感じることができます。

さらに春の桜や秋の紅葉に代表される四季折々の豊かな自然、現代と昔が調和した街並みや風情ある温泉街など、様々な魅力に満ちています。

4. 主要産業及び特産品

主要産業：機械、電気、繊維、プラスチック、食品

特産品：日本酒、いちご、柿、大和茶、大和肉鶏、ヤマトポーク

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション

- ・ H30.10.23 日仏友好160周年を記念してフランス国内で開催された「ジャポニスム2018」の公式企画「地方の魅力 -祭りと文化-」に参加。

- ・ H31.1.23～3.18 「ジャポニスム 2018」の公式企画として、奈良の仏像海外展示「古都奈良の祈り」展をパリ・ギメ東洋美術館で開催。
 - ・ R4.6.14～6.17 パリ・ユネスコ本部で開催された「日本へのクリエイティブな旅展 2022」に出展。
6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、実例など）
文化、観光、スポーツ、研究と教育、人材育成、福祉等

新潟市

都道府県	新潟県
市町村	新潟市
面積	726.28 km ²
人口	776,387 人
姉妹(友好) 都市名	ナント市
担当者連絡先: (住所 - 電話 - E-mail)	観光・国際交流部 国際課 新潟県新潟市中央区古町通 7 番町 1010 古町ルフル 5 階 025-226-1678 kokusai@city.niigata.lg.jp



1. 自治体の地勢

新潟市は、東京から北北西約 250kmの位置にあります。高速道路網や上越新幹線(東京から約 2 時間)で首都圏と直結しているほか、国際港湾、国際空港を有し、国内主要都市と世界を結ぶ本州日本海側最大の交通拠点都市です。また日本海、日本最長の信濃川(367km)、阿賀野川(210km)、福島潟、鳥屋野潟、ラムサール条約登録湿地の佐潟など、多くの水辺空間に恵まれています。

2. 自治体の簡単な歴史

古くから「みなとまち」として栄え、函館・横浜・神戸・長崎と共に日本で最初に外国貿易に開かれた5港の一つとして長い歴史があります。以来、日本海をはさみ、対岸諸島と距離にある新潟市は、日本海側における重要な国際港のまちとして発展し、2007 年 4 月 1 日に政令指定都市となりました。

3. 特徴

広大な越後平野の上に位置し、国内最大の水田面積を持つ大農業型都市です。政府から農業・雇用分野の国家戦略特区の指定を受け、農地の集積集約化や企業の参入を進めています。農産物の生産から加工・販売までを手掛ける農業の「6 次産業化」や食品関連産業等の他分野との連携を進め、新たな産業や雇用の場を創出し、安心・安全で暮らしやすい都市の創造を目指して取り組んでいます。

4. 主要産業及び特産品

米をはじめ野菜、果物、畜産物、そして国内トップレベルの生産量を誇るチューリップに代表される色とりどりの切花や鉢花など、全国に誇る魅力的な農産物の生産地であるとともに、日本酒や米菓・餅・パック米飯など米を素材とした食品加工産業もさかんです。

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション

ナント市とは、これまで文化・スポーツ、食を通じた活発な市民交流を続けてきました。姉妹都市提携 10 周年を迎えた 2019 年には、両市の文化団を相互派遣し記念式典を行ったほか、本市にてナントフェアを開催し、ワイン・チーズ等の試食販売でナント市の食文化に親しみました。新型コロナウイルスの感染拡大後は、Zoom を活用した学生交流などオンラインでも交流を進めています。

6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？
(テーマ、計画、実例など)

2022 年 5 月、本市の「将来に向けた持続可能な食と農の創出プロジェクト」が、先導的な自治体の取り組みとして、内閣府より「自治体 SDGs モデル事業」に選定されました。担い手の高齢化や生産性向上といった課題解決にデジタル技術を活用して取り組みつつ、「農業」を教育や福祉、観光など幅広い分野と連携させることで新たな価値を生み出し、持続可能な「食」と「農」を創出する取り組みを進めています。

桜井市	
都道府県	奈良県 桜井市
面積	98.92 km ²
人口	55,652 人 (令和4年5月31日現在)
姉妹(友好)都市名	シャルトル市
担当者連絡先: (住所 - 電話 - E-mail)	奈良県桜井市大字粟殿 432-1 TEL:0744-42-9111 (内線 1262) gyoseikeiei@city.sakurai.lg.jp



1. 自治体の地勢

桜井市は関西地区である奈良県のほぼ中央部に位置し、周辺は山々に囲まれており、面積の60%を山間部が占めています。県庁所在地の奈良市へは20km、大阪市へは40kmに位置しており、大阪市内への通勤・通学圏となっています。

2. 自治体の簡単な歴史

桜井市の歴史は古く、2～6世紀頃の宮跡や史跡、古墳などが数多く点在しており、政治・経済・文化の中心として栄えたところです。中世には神社や寺院を中心に門前町として発展し文化や商業が盛んになり、近世には宿場町として栄えてきました。

3. 特徴

本市には、三輪山を御神体とするわが国最古の神社である大神神社や桜や牡丹が美しい長谷寺、秋の紅葉が有名な談山神社、日本三文殊の一つである安部文殊院、国宝の十一面観音菩薩像で知られる聖林寺などがあります。また最近では、纏向遺跡発掘調査により大規模建築物跡が発見され、邪馬台国畿内説の有力候補地として注目されています。

4. 主要産業及び特産品

古くからは木材の集積地として栄え、特産品としては三輪素麺があります。また、市北東部の笠地域にて作られる笠そばが人気を集めています。

5. 日本とのイベントや活動又は自治体のプロモーション

第6回日仏自治体交流会議の後にシャルトル市のパトリック・ジェルデ副市長にお越しいただいたり、2019年度には桜井市に所在する長谷寺とシャルトル大聖堂の異宗教間対話行事が催される等、市民レベルでの交流も活発に行っています。

6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？(テーマ、

計画、実例など)

シャルトル市の化粧品産業集積地であるコスメティックバレーや、「光の祭典」による宿泊観光客の誘致、また、桜井市の旭製粉でも輸入しております小麦を中心とした大規模農業など、学ぶべき点はたくさんあり、参考にしたいと考えています。

静岡市	
都道府県	静岡県
市町村	静岡市
面積	1,411.83km ²
人口	689,079 人
姉妹(友好)都市名	カンヌ市
担当者連絡先: (住所 - 電話 - E-mail)	国際交流課 静岡市葵区追手町5番1号 054-221-1423 kokusai-kouryu@city.shizuoka.lg.jp



1. 自治体の地勢

静岡市は、東京から新幹線で約1時間の場所に位置し、北は標高 3,000m 級の南アルプスから南は水深 2,500m の日本一深い駿河湾に至るまで豊かな自然環境を有しており、一年を通じて温暖な気候と豊富な日照時間に恵まれています。

2. 自治体の簡単な歴史

静岡市では、約 2000 年前の弥生時代を代表する遺跡である「登呂遺跡」が発見され、当時の人々が集落を結成し水田稲作を行う生活を送っていたことが分かりました。

1607 年には日本の有名な武将である徳川家康公が駿府城の改築・改修や町割り、治水事業等により城下町を整備したことで、静岡市の基礎となる町並が完成しました。

3. 特徴

中山間地域には南アルプスや温泉、沿岸地域には世界文化遺産の三保松原や国宝の久能山東照宮などの観光資源を有しています。春は家康公の花見行列を再現する「静岡まつり」、夏は「花火大会」、秋は「大道芸ワールドカップ」などのイベントが開催されます。また、Jリーグ「清水エスパルス」のホームタウンとしても有名です。

4. 主要産業及び特産品

産業は清水港周辺の製造業、中心市街地の商業やサービス業などバランスよく構成されています。伝統工芸品などのものづくりも盛んで、プラモデルは製造品出荷額の全国シェア約 8 割を誇っています。特産物はお茶、マグロ、桜えびなどが有名です。

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション

カンヌ市で開催されるカンヌ国際映画祭にあわせて、「シズオカ×カンヌウィーク」を毎年開催しており、野外での映画上映や街角のおしゃれなマルシェなど、フランス気分を味わえます。また、東京 2020 オリンピックでは、フランス・テコンド代表チームの「ホストタウン」として、事前合宿の受入れや選手と市民とのオンライン交流が活発に行われました。

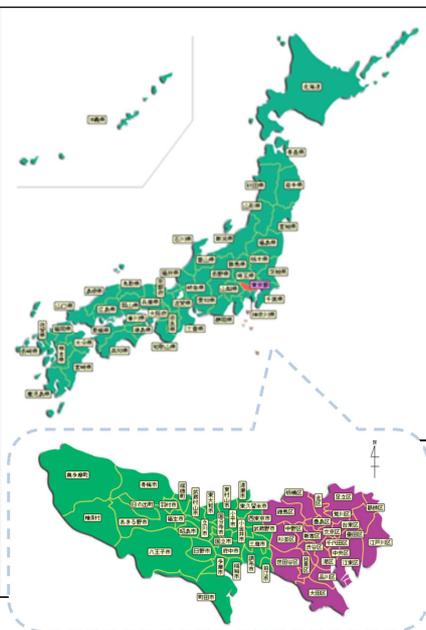
6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？(テーマ、

計画、実例など)

カンヌ市と政策研究に関する覚書を締結し、防災、財務、観光・文化、高等教育などの分野で連携をしてきました。この覚書をきっかけに、両市の料理専門学校間の新たな青少年交流が始まり、学生派遣による現地での研修や、各々の学生が相手国の先生から伝統料理の作り方を学び、実践する、オンライン調理実習により交流を深めることが出来ました。

東京都

州 県	東京都
面積	2,194km ²
人口	14,029,726 人(2022 年 6 月 1 日時点)
姉妹(友好)都市名	ニューヨーク市、北京市、パリ市、ニュー・サウス・ウェールズ州、ソウル特別市、ジャカルタ特別市、サンパウロ州、カイロ県、ベルリン市、ローマ市、ロンドン市
担当者連絡先: (住所 - 電話 - E-mail)	住所: 東京都新宿区西新宿2-8-1 電話: 03-5388-2224 E-mail: S8000415@section.metro.tokyo.jp



1. 自治体の地勢

東京都の地勢は、東西に長くひらけており、秩父山塊の一部を形作っている西部の山地、武蔵野台地と呼ばれる中央部の台地及び東京湾に接する東部の低地の大きく三つに分けることができる。また、太平洋上には、伊豆諸島や小笠原諸島の島々が点在している。

2. 自治体の簡単な歴史

1943 年、東京府と東京市を一体化した東京都制が施行。1947 年、憲法及び自治法施行により、東京都が普通地方公共団体に位置付け。同年、現在の 23 特別区となる。1962 年には、戦後復興の進展により、都の人口は 1,000 万人に達する。1998 年の自治法等の改正を経て、2000 年から特別区は基礎的な地方自治体に位置付け。都政度は、基礎的な地方公共団体とこれを包括する広域の地方公共団体による二層制を形成。

3. 特徴

東京都は 1603 年に徳川家康がこの地に幕府を開いた江戸時代から日本の首都として発展し続け、現在は全国で最も多い約 1400 万人が暮らす世界有数の大都市。政治、経済、文化などさまざまな分野において日本の中心であり、行政区域は特別区である 23 区と、26 市 5 町 8 村からなる。

4. 主要産業及び特産品

東京都においては、サービス業 25.0%、卸売・小売業 20.3%、不動産業 11.6%、情報通信業 10.2%、製造業 8.7%と第3次産業が大きな割合を占める(2017 年時点)。

特産品としては、交雑種(クロス)で、未知の可能性(エクス)を秘めた東京生まれの豚「TOKYO X」や軍鶏特有の歯ごたえに加え、旨みと香りが豊かな肉質を持つ「東京しゃも」のほか、温暖な気候に恵まれた利島と大島で盛んな「椿油」や、特徴的な苦味があり、生薬として出荷されるほとんどが東京産の「明日葉」などが挙げられる。

Tokyo Tokyo Old meets New

5. 日本とのイベントや活動又は自治体のプロモーション

東京都は 2017 年より、東京の観光の魅力を国内外へ一層強力に発信するため、「Tokyo Tokyo Old meets New」を活用し、PR映像やポスター等のPRツール、インターネットを活用した情報発信、広告展開などに取り組む。筆文字の Tokyo とゴシック体の Tokyo は、江戸から続く伝統と最先端の文化が共存している東京の特色を表現。

6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、実例など）

2021年8月7日、東京都とパリ市による共同宣言を発出

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2021/08/10/13.html>

富岡市

都道府県	群馬県
市町村	富岡市
面積	122.85km ²
人口	46,637 人 (令和 4 年 6 月 1 日時点)
姉妹(友好)都市名	ブル・ド・ページュ
担当者連絡先: (住所 - 電話 - E-mail)	群馬県富岡市富岡 1 番地 1 0274-64-0005 seishijou3@city.tomioka.lg.jp



1. 自治体の地勢

富岡市は、日本のほぼ中央に位置します。東京から約 100km 北に位置し、高速自動車道によって東京と約 1 時間で結ばれています。南と西には、1,000m を超す山々が連なり、北は丘陵地帯を形成しています。市街地は、市の中央部を流れる河川沿いの平地にあり、四季の変化に富んだ自然豊かなまちです。

2. 自治体の簡単な歴史

富岡市の市街地の歴史は、ちょうど 400 年前に新たに街並みが形成されたことに始まります。江戸(現在の東京)に向けて運ばれた砥石の中継地として開発されました。18 世紀には絹市が立ち、群馬県西部地域の商業の中心都市として発展しました。19 世紀後半以降には製糸業を中心に発展を遂げました。

3. 特徴

1872 年ブル・ド・ページュ出身のポール・ブリュナをはじめとしたフランス人の指導の下、富岡製糸場が建設されました。日本の近代化の礎となった富岡製糸場は、1987 年に操業を停止しましたが、現在も建設同時のまま残っています。2014 年富岡製糸場は、他の 3 つの関連資産群とともに「富岡製糸場と絹産業遺産群」として世界遺産に登録され、同年には国宝にも指定されました。

4. 主要産業及び特産品

農業、機械金属工業

野菜や花卉などの園芸作物、こんにゃく、しいたけ

5. 日本とのイベントや活動又は自治体のプロモーション

「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録を記念し、リヨンにおいて、絹を通じた日仏交流の歴史を紹介する大型文化事業「絹が結ぶ縁 SOYEUX DESTINS」を在リヨン領事事務所と開催しました。また、ポール・ブリュナの出生地であるブル・ド・ページュと友好都市協定を締結し、平成 29 年度は、「富岡製糸のルーツを探る」と題して、日仏交流シンポジウム及び富岡市民訪問団「富岡製糸場のルーツを巡る旅」を実施しました。

6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、事例など）
文化遺産・産業遺産の活用方法や、インタープリテーションツールの開発について情報を共有したいと思います。

豊 田 市	
都道府県	愛知県
面積	918.32 km ²
人口	419,048 人 (2022年1月1日現在)
姉妹(友好)都市名	
担当者連絡先: (住所 - 電話 - E-mail)	豊田市西町三丁目60番地 0565-34-6963 kokusai@city.toyota.aichi.jp



1. 自治体の地勢

日本の中部地方にある愛知県のほぼ中央に位置し、市域の約7割を森林が占める。
市内最高地 1,240メートル、市内最低地 3.2メートル



2. 自治体の簡単な歴史

1951年に市制を施行し、1959年に市名を「挙母市」から「豊田市」に変更。
1960年代及び2005年に近隣自治体との合併を重ねて発展してきたことから、
特性の異なる地域が共存している。工業だけでなく農業も盛んであり、豊かな森林や水資源を始めとした自然や歴史・文化などの多様な地域資源を有している。

3. 特徴

豊田市は、全産業に占める自動車産業の割合が非常に高い「クルマのまち」として知られ、世界をリードする「ものづくり中枢都市」としての顔を持つ一方、豊かな森林、市域を貫く矢作川、田園が広がり恵み多き緑のまちとしての顔を併せ持っている。
2018年に国から「SDGS 未来都市」に選定され、脱炭素に向けて持続可能なまちづくりに取り組んでいる。

4. 主要産業及び特産品

自動車産業をはじめ製造業が盛んであり、本市の製造品出荷額等は、約15兆円で2002年から連続で全国1位である。
農業も盛んであり、米の収穫量は愛知県内で1位である。その他、桃や梨等の果物、シンビジウム等の花の生産量も愛知県内で有数の規模を誇る。

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション

2021年から欧州連合が実施する「国際都市地域間協力 (IU R C: International Urban and

Regional Cooperation)プログラム」に参加し、フランスのグルノーブル・アルプス都市圏と連携し、水素やオープンイノベーションをテーマにして情報共有を深めている。

6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、事例など）
- ・SDGs 及び環境行動への市民参画
 - ・再生可能エネルギーの生産と利用

<h1>横浜市</h1>	
都道府県	神奈川県
市町村	横浜市
面積	437.71km ²
人口	3,773,673 人
姉妹(友好)都市名	サンディエゴ市(アメリカ)、リヨン市(フランス)、ムンバイ市(インド)、マニラ市(フィリピン)、オデーサ市(ウクライナ)、バンクーバー市(カナダ)、上海市(中国)、コンスタンツァ市(ルーマニア)
担当者連絡先	西川・島田
：	神奈川県横浜市中区
(住所 - 電話 - E-mail)	本町 6-50-10 045-671-3813 ki-euroamerica@city.yokohama.jp

1. 自治体の地勢

横浜市は神奈川県の東端に位置し、東は東京湾、北は川崎市、西は町田市・大和市・藤沢市、南は鎌倉市・逗子市・横須賀市に接しています。横浜市の中心部から東京都心部までは、約 30 キロメートルです。我が国を代表する国際貿易港である横浜港を基盤として、首都圏の中核都市としての役割を担っています。

2. 自治体の簡単な歴史

1859 年の横浜港開港以降、横浜は近代貿易都市として発展しました。1889 年に市制が施行され、徐々に市域を拡張、現在は 18 区が置かれています。1931 年以降、臨海部の埋立が進み京浜工業地帯として発展し、重化学工業都市化が急速に進みました。戦後、人口が急増し、みなとみらい地区などの開発が進みました。

3. 特徴

横浜市は約 380 万人が暮らす、日本最大規模の地方自治体です。開港以来、世界各国の交流の場として栄え、世界に開かれた国際都市として成長を続けています。日本を代表する観光 MICE 都市、SDGs 未来都市として、さらに国際技術協力など、横浜の取組は国を越えて広がっています。

4. 主要産業及び特産品

第3次産業の構成比が約 80%と一番多く、次に第2次産業が 15～16%を占めています。

特産品は、浜なし、コマツナ、シウマイ等。

5. フランスとのイベントや活動又は自治体のプロモーション

在日フランス大使館やアンスティチュ・フランセと共催で「フランス映画祭 横浜」を実施しています。毎年「横浜フランス月間」が横浜で開催され、フランス関係の様々なイベントが実施されています。姉妹都市のリヨン市が中心となって設立した「絹の都市国際ネットワーク」に加盟しています。

6. フランスの自治体と日本の自治体が共有できる良い事例はどのようなものがありますか？（テーマ、計画、事例など）

姉妹都市と共通産業であった絹についてのネットワークが拡大し、昨年『絹の都市国際ネットワーク』が設立、絹と関係する世界の国々との実務者会議が実現した。